

国分寺市長 井澤 邦夫 殿

令和5年度

国分寺市プレイステーション
事業報告書

国分寺市並木町 1-7-7 ピッコロ 101 号室

特定非営利活動法人 冒険遊び場の会

代表理事 武藤 陽



(1) 管理業務等の体制及び実施状況(管理業務及び自主事業)

管理業務体制

国分寺市プレイステーション

＊プレイリーダー

火曜日から土曜日 および第2・4日曜日	常時4名(土日:5名) 常勤プレイリーダー 2名 9:00～18:00 (1時間休憩) 非常勤プレイリーダー2名(土日:3名) 9:30～17:30 (1時間休憩)
------------------------	---

＊事務

火曜日から土曜日 および第2・4日曜日	常時1名 非常勤 1名 9:30～17:30 (1時間休憩)
------------------------	-----------------------------------

国分寺市プレイステーション内親子ひろば 「BOUKEN どんどこ」

＊子育てサポーター

火曜日から土曜日	常時3名 常勤プレイリーダー 1名 9:30～17:00 (1時間休憩) 非常勤プレイリーダー2名 9:30～16:30 (1時間休憩)
----------	--

＊カウンセラー、助産師

各 毎週1回	カウンセラー:毎週木曜日 助産師:毎週水曜日午前
--------	-----------------------------

＊全体統括

統括1名(プレイステーション、親子ひろば統括)

実施状況

国分寺市プレイステーション

令和5年度 利用実績(親子ひろばの人数を含む)

	幼児	小学生	中高生	大人	計	開場日	備考
4月	738	786	75	789	2388	22	
5月	588	514	82	644	1828	21	
6月	613	592	108	653	1966	24	
7月	665	731	93	658	2147	23	
8月	654	658	78	640	2030	24	
9月	646	592	71	693	2002	23	
10月	806	596	62	817	2281	23	
11月	748	612	61	754	2175	22	こどもまつり含まず(310名)
12月	754	666	51	757	2228	21	
1月	732	472	94	758	2056	21	
2月	635	459	64	634	1792	21	
3月	915	889	77	800	2681	23	マルシェは含まず(522名)
計	8494	7567	916	8597	25574	268	

(注1) 11月:こどもまつり(参加者310名)は含まず

(注2) 3月:マルシェ(参加者522名)は含まず

入場者数 前年度との比較

	開場日数	利用者内訳（年齢別）（人）				利用者人数	1日平均
		幼児	小学生	中高生	大人		
令和5年度	268日	8,494	7,567	916	8,597	25,574	95
令和4年度	269日	8,889	7,072	700	8,435	25,096	93
令和5年度 －令和4年度	－1日	－395	＋495	＋216	＋162	＋478	＋2
前年度比	100%	96%	107%	131%	102%	102%	102%

国分寺市プレイステーション内親子ひろば 「BOUKENどんどこ」

令和5年度利用実績

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計	母親	父親	その他	計
合計	1,737	1,995	899	440	479	5,550	4,374	519	125	5,017

利用者数 前年度との比較

	実施日数	子どもの年齢別利用者数（人）					子ども合計	大人	利用者合計	1日平均
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上				
令和5年度	245日	1,737	1,995	899	440	479	5,550	5,017	10,567	43
令和4年度	243日	1,530	1,766	820	482	358	4,956	4,419	9,375	39
令和5年度 －令和4年度	＋2日	＋207	＋229	＋79	－42	＋121	＋594	＋598	＋1192	4
前年度比	101%	114%	113%	110%	91%	134%	112%	114%	113%	112%

自主事業

○プレステこどもまつり

日程：令和5年11月19日（日）11：30～14：30

参加人数：0～17歳の子ども 305名、保護者、地域の方 225名

内容：子どもが自分の出店内容を企画し、商品やアトラクションを作り出店する。

出店内容：射的、くじや、子どもたちの手作り小物販売等

○プレステマルシェ

日程：令和6年3月3日（日）11：30～14：30

参加人数：0～17歳の子ども 254名 大人 268名 ボランティア 8名

出店内容：利用者の店（手作り品販売）、バザー、棒パン体験、昔遊びコーナー、野菜販売、駄菓子屋、土日カフェ、やきそば、すいとん販売、親子ひろば見学等

○あずこっこ（預け合い）

利用者同士の交流、子育てを助け合うことを目的に、利用者同士の預け合いをスタッフがサポートする仕組みを作り、実施した。預けるのが初めての親子も短時間なので無理な

く行えた。子どもを預け合うことで、より知り合えて仲良くなっていた。親自身も子どもと離れて自分の時間をもて、リフレッシュできていた。

12月から希望者を対象に実施。

実施回数 7回 あずこっこクラブ登録人数 6組

(2)決算状況及び施設の利用実績（決算収支状況、公の施設の利用実績（利用者数、利用不承認等の件数・その理由）

○決算収支状況 （別紙 1）

利用実績

【利用団体】

		利用回数	備考
1	ハンティントン	随時	自主保育サークル
2	ぐるんぱ	随時	自主保育サークル
3	ピカソ	随時	自主保育サークル
4	ボーイスカウト	1	
5	ツリーハウス	2	放課後デイサービス
6	光	1	放課後デイサービス（三鷹市）
7	学童保育所じゃんぷ（国分寺市）	1	民設民営施設
8	国分寺子どもクラブ	1	
9	第一・第二新町学童保育所（国分寺市）	1	公設民営施設
10	すてっぷ	1	放課後デイサービス
11	スマイルジュニア	2	放課後デイサービス（立川市）
12	神明幼稚園	1	
13	武蔵野台児童館（福生市）	1	
14	サレジオ学園	1	
15	ころろ探検隊	1	
16	こばんはうす さくら	7	放課後デイサービス（立川市）
17	第2ルーチェ	4	放課後デイサービス（けやきの杜）
18	ゆうやけこどもクラブ	2	放課後デイサービス（小平市）
19	ルーチェ光町教室	2	放課後デイサービス（けやきの杜）
20	くにたち発達支援センター	3	
21	メリーランド	1	放課後デイサービス （こころのネットワーク陽）
	合計	33	

【ボランティア参加者数】

ボランティア体験（学生の受入れ）

- ・東京経済大学学生 地域貢献としての受入れ：81名
実施日数：46日（期間：令和5年5月18日～令和5年12月19日）
- ・日本大学学生 1名 日数：31日（期間：令和5年8月3日～令和6年3月7日）
- ・日本女子大学 1名 日数：1日（令和5年7月5日）
- ・武蔵野美術大学 1名 日数：2日（①令和5年10月31日、②令和5年11月4日）

ボランティア体験（地域の方）

受入れ日数 146日 延べ人数 224名

【実習の受入れ】

- ・東京慈恵会医科大学：10名 日数：10日
（期間：①令和5年5月23日～27日 ②令和5年5月30日～6月3日）
- ・明星高校：2名 日数：1日（令和6年6月21日）

【職場体験の受入れ】

- ・国分寺市立第一中学校 3名 日数：3日（期間：令和5年10月11日～13日）

【見学の受入れ】

- 4月 こくぶんじボランティアセンター、麒麟福祉財団職員、放課後デイサービスすてっぷ職員
- 5月 早稲田大学学生、ころろ探検隊、国分寺市議会議員、民生児童委員、
- 6月 日本女子大学学生
- 7月 せりがや冒険遊び場職員
- 8月 町田プレイパーク職員、武蔵台児童館職員、神明幼稚園職員
- 9月 東京学芸大学教員、
- 10月 武蔵野美術大学学生、国分寺市立第六小学校まち探検
- 11月 東武ツアー職員
- 12月 ファミリーサポートセンター職員
- 1月 川崎夢パーク職員、光公民館サポート委員、社会教育委員、東京都青少年対策協議会職員、Koco ジャム職員
- 2月 冒険遊び場の会立川世話人、障害者団体「アンビー」職員
- 3月 綾瀬市職員、国分寺市立しんまち児童館職員

【避難訓練】

- ・全職員が必ず訓練を受けるために、それぞれ1週間ずつ行った。

火災	令和5年9月12日（火）～15日（金）	9:30～10:00
	令和6年1月16日（火）～19日（金）	9:30～10:00
不審者	令和5年7月11日（火）～14日（金）	9:30～10:00
地震	令和6年3月5日（火）～8日（金）	9:30～10:00

（３）従業員育成に係る研修実施状況

実施研修（自主事業）

令和５年３月１９日 （令和５年度分 研修先行実施） 参加者：３８名	○会のビジョンと公共事業 ○プレイステーション事業の確認（冒険遊び場における 新たな仕事体験・居場所づくり推進事業を含む） ○前年度の活動の課題の確認と目標決め
令和５年５月１５日 参加者：３８名	○応急手当研修
令和５年６月１５日 参加者：２６名	○遊び場のゾーニング ○プレイリーダーと子育てサポーターについて ○会のビジョンと公共事業の確認
令和５年７月３日 参加者：２６名	○プレイリーダーとしてのコミュニケーション研修 ○子どものいじめ、虐待について
令和５年１０月２９日 参加者：３７名	○安全管理研修 ・安全管理のポイントについて（場所・遊具・道具などの写真と説明） ・その他肝となる目の付け所
令和６年３月１７日 参加者：３７名	○令和５年度 活動の振り返り研修
令和５年９月９日、２３日、１０月 １８日 ＊希望者のみ（１０名）	○障がい児、障がい者ボランティア講座 ・バリアフリーとユニバーサルデザイン ・いろいろな障がいについて ・車椅子について ・対応他
令和５年９月１１日 ＊希望者のみ（２２名）	○国分寺市利用者支援事業研修 『虐待が子どもに与える影響』～子どもが健全に育つための支援とは～』
令和５年１０月２５日 ＊希望者のみ（３名）	○乳幼児の障がいの気づきと適切な支援につなげるために
令和５年１１月１３日 ＊希望者のみ（２０名）	○国分寺子ども・子育て支援円卓会議研修 「国分寺市の公民館を知ろう」
令和５年１１月１８日 ＊希望者のみ（３名）	○ヤングケアラーについて知ろう
令和５年１２月９日 ＊希望者のみ（４名）	○発達が気になる子どもの理解と接し方のヒント
令和６年３月１５日 ＊希望者のみ（１０名）	○親子ひろば事業スキルアップ研修 ・親子ひろば事業の活動について ・支援者としてのスキル

プレイリーダー講習会（別紙 ２）

フィールドワーク「乳幼児と一緒に外遊びを１０倍楽しむスキル」

令和５年５月２１日（日）（９：３０～１３：００）市プレイステーション

同時開催「プレイリーダーと一緒に遊ぼう」（３歳以下の子どもと保護者を募集）

令和５年５月２１日（日）（１０：００～１１：００）市プレイステーション

（4）利用者意見及び自己評価（利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価）

利用者アンケート調査 （別紙 3）

○国分寺市プレイステーションアンケート

実施期間 令和5年11月21日～12月10日

対象者 国分寺市プレイステーション利用者

大人向け 有効回答 102 通

子ども向け(小学生以上) 有効回答 101 通

方法 利用者全員に配布しその日のうちに記入してもらい回収する。

アンケート結果の公表 利用者に分かりやすい方法で掲示

○親子ひろばアンケート

実施期間 令和5年9月1日～30日（市内親子ひろばアンケートの実施日程に準ずる）

対象者 親子ひろば「BOUKEN どんどこ」利用者 有効回答 80 通

方法 利用者全員に配布しその日のうちに記入してアンケート箱に入れてもらう。

アンケート結果の公表 利用者に分かりやすい方法で掲示

利用者懇談会 （別紙 4）

○子ども会議 ①令和6年2月3日（土）11:00～11:30

参加者：子ども 15 名

○大人会議 令和6年2月17日（土）15:00～16:00

参加者：大人 10 名

事業実施状況自己評価 （別紙 5）

（5）苦情対応に係る記録 （別紙 6）

（6）事業計画書に掲載した計画の実施状況 （別紙 7）

(7) その他管理の実態を把握するために必要な事項

○冒険遊び場における新たな仕事体験・居場所づくり推進事業 (別紙 8)

年間活動実績

	駄菓子屋	夕暮れカフェ		土日カフェ	
開催日数	269 日	194 日		71 日	
利用者数		1,343		1,435	
		中学生	1,067	大人	1,292
		高校生	276	子ども	143
仕事体験参加者数	2,276			67	
だがプレ子ども会議 まつり等企画参加者数	22				
イベント参加者				131	

【駄菓子屋】

- ・駄菓子屋を開設し、年間 2,276 名の子どもたちが駄菓子屋の仕事“店員”を体験した。駄菓子の販売だけでなく、子どもたちの声から、親子ひろばへの出張販売が行われ、乳幼児への絵本や紙芝居の読み聞かせが行われ、多世代交流が自然と行われた。また、子どもたちが店員とお客さんとして会話を楽しむようになり、駄菓子屋が子どもたちの居場所として定着してきた。

【土日カフェ】

- ・親子がくつろげる「土日カフェ」の開設・土日に乳幼児親子の休息と交流のためのカフェを開設し、コーヒーや焼き菓子を提供したことにより、これまで来場が少なかった父親や高齢者の来場が増え、多世代交流・地域交流が行われた。

【夕暮れカフェ】

- ・プレイステーションの利用者に加え、中学生・高校生のための「夕暮れカフェ」には、1,343 名の中高生が利用した。
- ・「夕暮れカフェ」では、毎日、子どもたちが料理をつくり、食べることが日常になった。また、楽器演奏などの体験活動やゲームなど、中高生が自由に過ごせる居場所となった。また、不登校等の理由で孤立しがちな子どもたちにスタッフが寄り添い、安心できる居場所となっている。

【全体として】

- ・仕事体験・居場所づくり事業によって、子どもたちは自分たちの意見がお店の運営に生かされたり、頼りにされたりする経験を経て、自信をつけていったと思われる。そして保護者や赤ちゃんも含めて異年齢、多様な人とのかかわりが生まれる活動だったと言える。
- ・プレイステーションは孤立しがちな子どもたちの居場所という側面があり、必ずしも多くの関わりを求めている子どもたちについては、夕暮れカフェがその機能を果たし、スタッフとの個別的な関わりの中から、少しずつ人への信頼を取り戻したり、またつらい気持ちを吐

き出したりしながら、安心の居場所として機能していた。

- 多様な人、多世代が利用する居場所の運営は難しいことも多いが、逆に多様な人がいるからこそ、その個性や人と違う光るものを認め合い、一緒にやっ払いこうという暖かい雰囲気も生まれるのだということを実感した。居場所づくりは色々な人が集まって企画し、運営していくことが大切だと改めて思った。

収支決算報告書

(別紙1)

(令和5年度)

令和5年4月1日から令和6年3月31日

施設名	国分寺市プレイステーション
指定管理者名	NPO法人 冒険遊び場の会
指定管理期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

【指定管理業務に係る決算報告】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成 率 (B÷A)	摘 要
指定管理料	23,823,709	23,823,709	100.0%	※消費税込
事業収入(市指定)	100,000	83,100	83.1%	プレイリーダー講習会参加費
本部繰入金	0	0		
その他の収入	0	4,678		本部経費より算入
収入合計	23,923,709	23,911,487	99.9%	

2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成 率	摘 要
人件費				
職員給与	5,677,200	6,221,456	109.6%	2名分:(280,000円、226,800円)×12ヶ月+残業代
アルバイト給与	6,599,380	6,864,620	104.0%	アルバイト30名 時給1,100円・1,200円(平日)、1,140円・1,240円(土日)、常勤代替、有給休暇含む
事務人件費	2,158,940	2,363,980	109.5%	事務アルバイト4名 時給1,100円・1,200円(平日)、1,140円・1,240円(土日)、有給休暇含む
交通費	80,000	86,420	108.0%	通勤手当、駐車料金
法定福利費	1,580,000	1,639,428	103.8%	社会保険料・労働保険料
需要費				
消耗品費	150,000	175,139	116.8%	ゴミ袋、掃除用品、ハンドソープ他
事務用品費	40,000	40,158	100.4%	ファイル、コピー用紙、インク他
広報印刷費	40,000	44,366	110.9%	印刷代他
光熱水費	1,820,000	1,413,014	77.6%	電気料金・水道料金
燃料費	28,000	14,182	50.7%	ガソリン代
役務費				
通信費	146,000	144,817	99.2%	電話料金・インターネット料金
保険料	194,000	193,990	100.0%	傷害保険料、賠償責任保険料
賃借料				
車両リース代	93,000	90,200	97.0%	車両リース料4か月分(3事業で按分)
委託料				
空調衛生設備保守	380,000	396,000	104.2%	清掃委託費、換気扇清掃費
機械警備委託料	110,000	104,280	94.8%	セコム
車検料	452,850	217,580	48.0%	施設維持費として
原材料費				
活動材料費	180,000	329,292	182.9%	鋸替刃、工作道具、材料、木炭、調理器具他
その他				
プレイリーダー講習会	250,000	265,054	106.0%	予算内訳(委託費150,000円+参加費100,000円)
施設維持費	240,000	581,126	242.1%	コンパネ、木材、水性ペンキ他
支払手数料		3,740		払込手数料
諸経費	1,529,456	1,639,749	107.2%	事務所経費按分、税理士・社会保険労務士支払報酬按分、スタッフ研修人件費、管理人件費他スタッフ研修人件費、管理人件費他
租税公課	2,174,883	1,082,896	49.8%	消費税
支出合計	23,923,709	23,911,487	99.9%	

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。
消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。
指定管理業務に係る決算と自主事業に係る決算は分けて記載すること。

【自主事業に係る決算報告】

1. 収入の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘 要
自主事業に係る収入	132,000	107,010	81.1%	バザー、マルシェ、仲間づくり登録料、飲み物等販売
本部繰入金				
収入合計	132,000	107,010	81.1%	

2. 支出の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘 要
自主事業に係る支出	132,000	95,533	72.4%	仕入、消耗品費、広報印刷費、駐車料金、人件費等
本部経費よりプレイステーション事業へ算入	0	4,678		
本部経費より親子ひろば事業へ算入	0	6,855		
実質収益		-56		
支出合計	132,000	107,010	81.1%	

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。
消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。
指定管理業務に係る決算と自主事業に係る決算は分けて記載すること。

※収支計算に対する総括・自己評価

・コロナ5類感染症に移行されたことにより、移転後初めて行う野外調理等の準備備品を揃えた為、活動材料費が増えた。

【指定期間中の状況】

指定管理期間	令和 5年 4月 1日 から 令和 6年 3月 31日
指定管理費 収入総合計額(円)	23,823,709
指定管理費 支出総合計額(円)	23,823,709

指定管理費 市提示の総額上限額(円)	23,823,709
--------------------	------------

(単位:円)

指定期間中の 決算の状況	収入	支出	収支
令和5年度	23,911,487	23,911,487	0
計	23,911,487	23,911,487	0

(単位:円)

指定期間中の 自主事業の収支状況	収入	支出	収支
令和5年度	107,010	107,066	-56
計	107,010	107,066	-56

収支決算報告書

(別紙1)

(令和 5年度)

令和 5年 4月 1日 から 令和 6年 3月 31日

施設名	国分寺市プレイステーション内 親子ひろば
指定管理者名	NPO法人 冒険遊び場の会
指定管理期間	令和 5年 4月 1日 から 令和 6年 3月 31日

【指定管理業務に係る決算報告】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成 率	摘 要
指定管理料	10,346,291	10,346,291	100.0%	
事業収入(市指定)	0	5,500		仲間作り預け合い講座材料費実費
本部繰入金	0	0		
その他の収入	0	6,855		本部経費より算入
収入合計	10,346,291	10,358,646	100.1%	

2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成 率	摘 要
人件費				
職員給与	2,304,000	2,353,202	102.1%	195,871円×12か月+残業
アルバイト給与	5,123,500	5,074,735	99.0%	アルバイト給与時給1,100円・1,200円、カウンセラー、助産師、 常勤代替、有給休暇含む
統括	864,000	864,000	100.0%	統括1名72,000円×12ヶ月
交通費	70,000	74,058	105.8%	通勤費・研修交通費等
法定福利費	850,000	864,911	101.8%	社会保険料・労働保険料・健康診断
報償費	36,000	36,000	100.0%	講座講師謝金3000円×12回
需要費				
消耗品費	220,000	220,136	100.1%	清掃用品、ハンドソープ、コピー用紙、テープ他活動材料等
役務費				
傷害保険料	50,000	49,648	99.3%	傷害保険料、賠償責任保険料
その他				
諸経費	828,791	821,956	99.2%	事務所経費按分、税理士・社会保険労務士支払報酬按分 分、スタッフ研修人件費、管理人件費他
支出合計	10,346,291	10,358,646	100.0%	予算達成率は実質収益を控除

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。

消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。

指定管理業務に係る決算と自主事業に係る決算は分けて記載すること。

※収支計算に対する総括・自己評価

- ・コロナ5類感染症に移行されたことにより時間制限なく活動を行うことができ、予算通りの執行ができた。
- ・「仲間作りの預け合い」を始め、それに伴う講座で材料費を徴収した。

【指定期間中の状況】

指定管理期間	令和 5年 4月 1日 から 令和 6年 3月 31日
指定管理費 収入総合計額(円)	10,346,291
指定管理費 支出総合計額(円)	10,346,291

指定管理費市提示の総額上限額(円)	10,346,291
-------------------	------------

(単位:円)

指定期間中の 決算の状況	収入	支出	収支
令和5年度	10,358,646	10,358,646	0
計	10,358,646	10,358,646	0

令和5年度プレイリーダー講習会 報告書

1, フィールドワーク「乳幼児と一緒に外遊びを10倍楽しむスキル」

令和5年5月21日(日)(9:30~13:00)市プレイステーション

同時開催「プレイリーダーと一緒に遊ぼう」(3歳以下の子どもと保護者を募集)

令和5年5月21日(日)(10:00~11:00)市プレイステーション

2, シンポジウム「いろいろな人と一緒の場で育ちあう・支えあう」

令和5年12月17日(日)(13:30~16:00) ココブンジプラザ

〈事業の対象・目的〉

対象：子どもの遊びに関心のある大人、子どもと関わる仕事をしている大人、子育て中の保護者など

全体の目的：子どもと関わる活動をしている大人に、プレイリーダーの資質を身につけてもらう

(1) フィールドワーク「乳幼児と一緒に外遊びを10倍楽しむスキル」

【趣旨】

- ・子どもが小さいうちから戸外で自然にふれて遊ぶことの大切さがうたわれているが、実際には乳幼児対象には室内での遊び場が整備されることが多くなっている。
- ・そこで、乳幼児ならではの外遊びのヒントや安全管理の知識をもったプレイリーダーを養成し、乳幼児をもつ保護者が身近な場所で親子ともども楽しめるよう、手助けするスキルを学ぶ機会とする。
- ・被験者としての親子も同時に募集する。
- ・講師 村岡 佐和 氏

【受講者】 41名

【参加親子】 17組(子ども18名、大人30名)

【当日のスケジュール】

時 間	内 容	
9:30~10:00	オリエンテーション	
	講師による説明	目的や手順など
	活動開始	グループに分かれて
10:00~11:00	参加親子合流	個人での関わりも可
11:00~11:30	参加親子帰宅	親子に感想をインタビュー 帰りのサポート
11:30~12:40	振り返りと発表	グループごとに発表
12:40~13:00	講師講評	
13:00	アンケート・終了	

【概 要】

- ・始めに参加者全体で集まり、講師からゾーンごとに置いてある材料の利用の仕方など説明。外遊びを楽しむ

ながらどうリスク管理するかもポイントである。

- ・受講者を、「砂遊び」「土と水」「山」「草・花・虫」「風船・ボール・新聞紙」「シャボン玉」の6グループに分け、自分のゾーンでの遊びの展開を考える。途中からは担当ゾーンを離れ、各々が親子と関わりをもてるようにした。

0～3歳のリスク管理について、実際の幼児を見て学ぶ。

自分以外の受講者が親子と関わる姿を見て、関わり方を学ぶ。

- ・親子を迎え入れる時に受付で「あったら便利3点セット」（ビニール袋、ばんそうこう、ラムネ）を渡し、遊びの動機づけにした。
- ・被験者となった親には最後にインタビューし、参加者全体で感想を聞いた。好意的な意見が多かった。
- ・受講者からは、外遊びの魅力が分かった、実際の幼児の遊び方を見られた、（親子との）距離感をもっと分かりたい、との感想があった。また自分が思っている以上に乳幼児が積極的に外遊びを楽しむことが分かった、等の意見があった。

一方、受講者のほうが親子参加者より多いため、受講者の中には手持ち無沙汰になったり、親子に過剰に積極的に接しようとしてしまった、等の反省もあった。

- ・「親子の外遊びヒント集」を作成、受講者と参加親子に配布し、外遊びを積極的に楽しむための様々なアイデアを知ってもらえた。

(2) シンポジウム 「いろんな人と一緒の場で育ちあう・支えあう」

【趣 旨】

「インクルージョン」「共生」などが活動の基盤として語られるようになってきたが、地域社会の在り方が少し変わることによって「孤立」は薄まり、地域社会の背景の中に溶け込んでいくのではないかと。その試みを実践している活動団体から話を伺う。実際の取り組みを知ることによって、いろいろな人と一緒に生きるための知恵と工夫について学ぶ。

- ・シンポジスト ①地域の寄り合い所また明日 森田 眞希 氏
②こくぶんじ青空ひろば 四宮 みどり 氏

【受講者】 60 名

【当日のスケジュール】

時 間	内 容	
13:30～16:00	シンポジウム	シンポジストによる活動紹介
		グループワーク・発表
		シンポジストとの意見交換
		まとめ
16:00	アンケート・終了	

【概 要】

1, シンポジストによる活動紹介

活動の経緯や歴史、現在の活動、利用者たちの様子についてパワーポイントを使って 30 分ずつお話を伺った。





キーワード
「自分達にないものを数えずに、この地域だからこそできることを考える」

②こくぶんじ青空ひろば 四宮 みどり氏 (以下 資料ダイジェスト版)

青空の下で井戸端のように・・・

「こくぶんじ青空ひろば」の活動から

東京VPOはス**実証(研究発表 西宮みどり)



ハメを外すこともある

学校や家とはちがう場所





2, グループワーク

7 グループに分かれ、2つのテーマに沿って自由に話す。各グループの進行役は事前に依頼。

- ① 「だれでもどうぞ」という場があったとして、「～が好きな自分」は、どんなところだったら行かれるか
(どんな工夫やしくみがあったら行きたいと思うか)
- ② 「みんな一緒にすごせる場」で、みんながそれぞれ好きなことを実現するためには、どういう工夫があれ
ばいいか。

多様性を「好きなこといろいろ」と考え、それぞれの人が「ひとつのところで」「好きなこと」を実現するためにはどんな工夫が必要か、について話し合った。シンポジストの発表の後だったので、どのグループも自然にお互いを尊重し合いながら自分のことも主張するという基本姿勢があり、あたたかい雰囲気の中で活発な話し合いが行わ

れた。

(話し合いであげられた「場」の特性や工夫)

「ハード面」

- ・細かく区切らない ・フリースペース ・みんなが見渡せるような場 ・いろいろな場があり自分で選べる
- ・一人になれる場がある ・人の気配を感じられる ・火を囲んで過ごせる ・大きな音を出せる
- ・変化する、進化する、余白のある場

「ソフト面」

- ・雑多な人が集まる「場」にいて安心 ・安全を感じさせるマスターのような「人」が重要 ・だめな大人でもいい
- ・評価しない人 ・多様性を認めてくれる人 ・干渉しすぎない人

「その他」

- ・初めての人でも入りやすいイベント ・「楽しんでいます」が伝わるお知らせ など
- ・「一緒にいること」に難しさを感じる人への配慮が必要。「一人でいられる場」をどのグループも挙げていた。

3, シンポジストとの意見交換・まとめ

時間節約のために、シンポジストにはグループごとの発表の時に随時意見を述べていただき、休憩中に集めた質問にも答えていただいた。

(まとめ)

- ・対象ごとに分けてニーズに特化したサポートが受けやすい安全な場と、みんなの居場所のような開かれた場、お互いが支え合う場と両方が必要。
- ・支援を一方的に受けるだけではなく、誰もが支える側にもなれることが重要。
- ・居場所は少しずつ増えているが、本当に来てほしい人の利用が少ないことも多い。未利用の人は知っている人に直接勧められると利用しやすいと思う。居場所を運営している人がまずは関係する他施設の人、地域の人とつながって活動を知ってもらい、その人たちから勧めてもらうのが良いと思う。
- ・利用者が来てくれたら、何がしたいか、どんなサポートが必要か丁寧にきき、いろいろな人と繋がって実現する方向をさぐっていくことが大切。

シンポジストからは、これからの活動のヒントとして、

「ないものを数えずに、この地域だからこそできることを探す、できる人と繋がる」

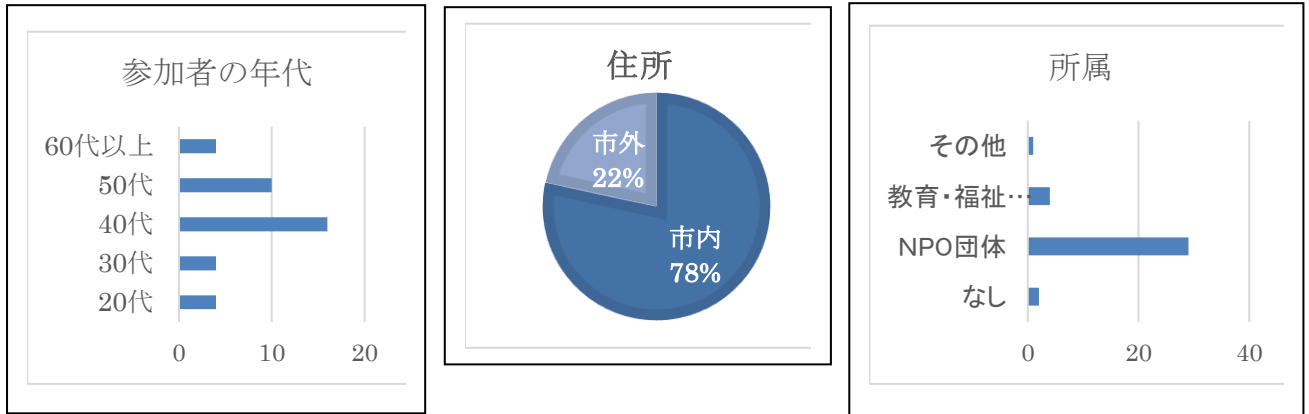
「いろんな人と一緒に…をやらない方がもったいない」などの言葉をいただいた。

終了後には、参加者どうし連絡先を交換し合う姿が見られ、また参加した大学生が「また明日」の近所に住んでいることが分かるなど、ご縁を感じ、交流を深めることができた。

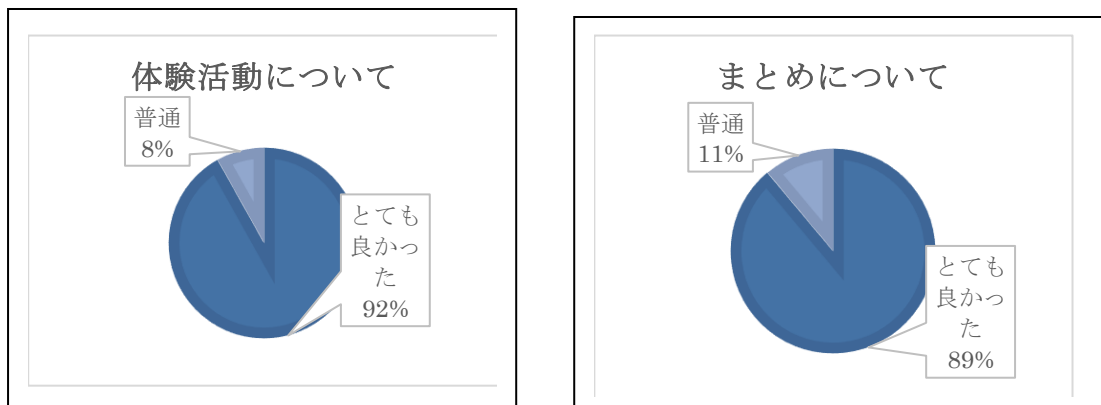
資料1 【フィールドワーク受講者アンケートの結果】

回答者数 42 名

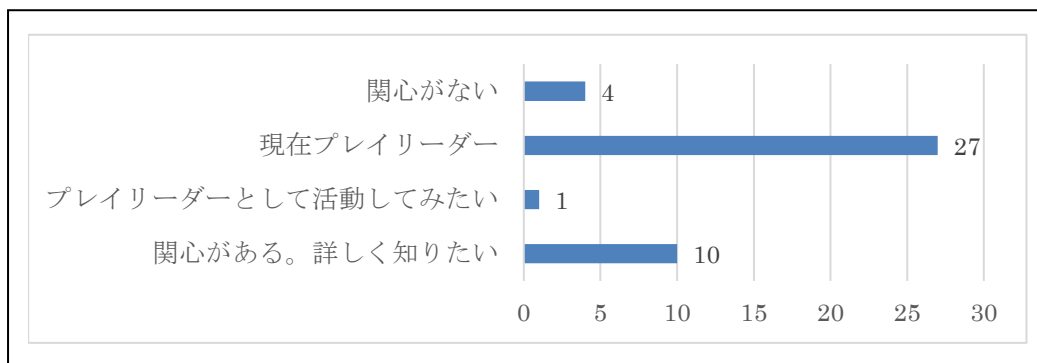
1, 参加者の属性



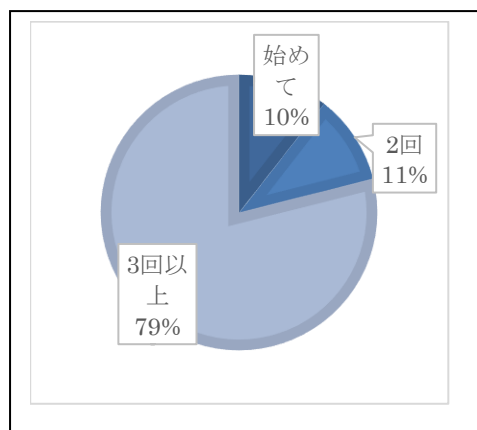
2, 講習会の評価



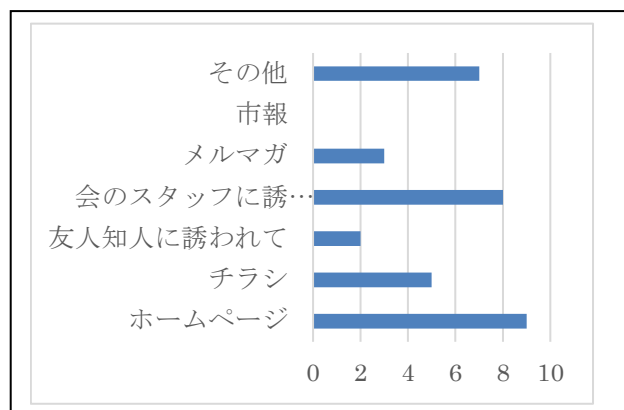
3, プレイリーダーについて



4, 講習会参加回数



5, 講習会を知った手段



6, 感想

【受講者自身の気持ち】

- ・楽しかった。楽しみながら参加できた。外遊びの楽しさを思い出した。外は気持ちがいい。(8件)
- ・子どもに対して大人の人数が多くひるんだ子どももいた。
- ・自分は乳幼児親子に関わるのが本当に好きだと知った。自然に楽しめた。
- ・子どもの頃の遊び場を思い出し楽しかった。この経験を活かしたい。

【他の受講者からの学び】

- ・他の参加者の別の視点を知ることができた。他の参加者の声かけについてみることもできた。
- ・別の受講者が関わっていて自分は直接遊ぶことはなかったが他の参加者の別の視点を知ることができた。他の人の発言や動きが学びになった。(5件)
- ・プレイリーダーのスキル、声かけの様子などみることができた。
- ・親の視点からの外遊びを知ることができた。
- ・スタッフ目線、親の目線の両方の見方を学ぶことができた。
- ・スタッフだけでなく利用者とのかわりがありあってリアルにできた。

【楽しむ親の様子】

- ・親子がだんだん楽しくなっていくのがわかりうれしかった。親子が楽しんでいる様子が見られて良かった。最初ドキドキしていた親子が帰るころには心地よい疲れを感じた表情が良かった。(4件)
- ・親が楽しんでいると子どもも楽しいと思った。
- ・普段の活動の中で技術的な力不足を感じるが、正解はなくてそこにいっただけでも意味があったり、自分が楽しいことをしている姿も意味があることを改めて確認出来て安心した。
- ・親も子どもも大人も子どももいろいろな反応、遊び方があっていいのだと改めて思った。

【0～3歳の子どもとは】

- ・0～3歳のピンポイントでどうなるかと思ったが、とても気付きがあった。
- ・外遊びが初めての子も、積極的だったり様子を見ながらだったり様々で勉強になった。
- ・1歳ぐらいたと道具を使う以前に自分の手で触るから始まるのだと実感。その後はまねることをするようだ。
- ・砂遊びに関して学ぶことができた。
- ・普段0～3歳の子どもと関わる機会が少なくどんな遊びが楽しいんだろう、と思いながら探りながら関わって

たが、プレイリーダーや他の子どもと関わる仕事をしている方の関わり方を見られて勉強になった。

- ・0～3歳の親子が来ることで、プレステスタッフ以外にもプレステや青空での様子を見ることができたかなと思った。
- ・幼児親子との外遊びは慣れていないため発見がたくさんあった。危険な場所もたくさんあった。
- ・ある道具をどう生かすか、創造力を養うことができた。
- ・親の驚く顔を気にせずどんどん泥に入っていく姿が良かった。
- ・11カ月の子がはじめはシートの上でお座りしていたが、後に泥んこ場で再会。父がお座りさせ、泥団子を初めて触った！ポイポイしていたのが口に入れ始めたので砂場に誘導すると水遊び、草でぴしゃぴしゃ～砂を全身でびゃんびゃん。砂をつかんで離しての繰り返し、最後はシャベルでびゃんびゃん。今日初めての外遊び、と聞いて、びっくり！！こんなにも遊べるんだと実感。短い間のうちにぐんぐん成長していく姿、とても貴重な光景をみた感じで大満足。
- ・子ども自身が汚したくない子もいるのだと思った。
- ・自分では思いつかない遊び方を知れて良かった。お寿司のお皿が本当にお寿司屋感がでておもしろかった。
- ・0歳も外で遊べると分かった。どういう遊びを共有したり見守ったりしたら良いか考えるきっかけになった。
- ・0～3歳の遊びも特にこだわるものでなく、そこにあるもので良いと知った。

【乳幼児の外遊び】

- ・良い季節で楽しい外遊びができ、外遊びの魅力が分かった。親子に楽しさを伝えていきたい。
- ・初めてプレステで遊んでみたが、草花、木の実、土、水、小石、色々素材があり楽しかった。シャボン玉も初めて作ったし、せっけんどろどろのぐちゃぐちゃも久しぶりで楽しんばかりだった。
- ・外遊びの良さの奥深さが知れた。関わり方も学べた。
- ・外遊びの楽しさをもっと伝えたいと感じた。今日来ていない人に伝える方法を振り返るきっかけになった。外遊びの壁・・・。
- ・お土産に泥が良く落ちるせっけんを渡したり、置いてあった方が良いとも思った。
- ・外遊びは室内とはまた違った幼児視線になって安全面から気を付けないといけないと思った。石を食べてしまうのを見て、見守りが必要だと思った。小さいのに存在感が大きくてみているだけでかわいかった。

【親子への関わり方】

- ・親子で遊ぶように促すのが難しく、自分が子どもと遊んでしまい、どう親にふったり、巻き込んだりするか迷う場面があった。
- ・親子の数が少なく、どう声かけしてよいか悩んだ。でもそれは親子で遊んでいたということなので良かったのかと思った。
- ・乳幼児親子と一緒に不安が大きかった。のんびりゆっくり過ごせた。
- ・接し方がわからずどこまで親子と関わっていいかわからなかった。距離感をもっと分かりたいと感じた。最初にどんな遊びができるか考えてから親子に関わりたかった。
- ・親子で楽しく遊んでいると介入が難しかったが、隣で別の遊びを勝手にしているのは新発見だった。
- ・親も一緒に遊ぶ働きかけは難しかった

【講習会の在り方】

- ・参加者・利用者ともに雰囲気良く、見守る、遊ぶが適切な感じがした。そういう空気感がなぜ出たのか、というところまで、振り返り～講評で言語化された点が、学びがより深まり良かった。

遊び方を教える場だと思っていたので、コミュニケーション、場づくり、全般に通じる大きな学びができて良かった。

- ・きっかけとして作った遊びに子どもたちが興味をもち、反応し、保護者もわが子について発見があったとの感想があり良かった。
- ・一人一人の受講者がどう親子と関わろうかとしているところがすごく良かった。親の気持ちがほぐれると子どもも楽しめているのが良かった。
- ・親子で楽しんでいる人が多く、親子参加型の研修も良いかなと思った。普段とはちがうところであそぶ子どもの興味の力がすごかった。父の方が汚れに抵抗あるのかな。
- ・最後の感想を聞いて、親子はすごく意識高い系だったのかも、ふだんの公園に来る親子とは違うかもと思った。
- ・11時までという時間設定が良かった。参加した子たちがちょうど帰りたくなる頃合いだった。
- ・振り返りで気づきが多かった。

【その他】

- ・暑すぎなかったのが良かった
- ・山川さんのごあいさつとても感激しました。力になる。
- ・プレステの中を歩き回れたのが良かった。

7、改善したほうがいいこと

- ・大人の数に比して子どもが少ない（11件）
- ・振り返りの時間が短かった。
- ・0～3歳には少し危険なエリアだと思った。
- ・荷物を置く場所が分からなかった。
- ・遊び場の会の人が多すぎる
- ・0～3歳には時間が少し長いかもしれない。
- ・砂場のところは利用者の感想などを聞くことができなかった。
- ・振り返りにもあったようにやや前のめりなコミュニケーションがあったので、親からすると、少しドキドキしてしまうかもと思った。今日初めて来る親もいたと思うので、はじめに参加者の属性（参加回数など）がわかると対策できたかも
- ・ブースの担当者という意識になってこっちにいらっしやい、という気持ちになってしまった。
- ・口でふくらませた風船をあげるのはどうなのか。
- ・今日来た親は会の活動に興味のある人だったが、そうじゃない親への働きかけを考えたい。

8、子どもの遊びに関して実習したい事

- ・利用者も一緒に火起こし
- ・より深く外遊びの知識を得られるもの
- ・身体を動かす遊び（今どきの鬼ごっこなど）（2件）
- ・救急法、
- ・親子とのかかわり方（3件）
- ・草花を使った遊び、自然の中での遊び3
- ・水遊びのスキル（2件）
- ・2歳以上の親子と外遊び（2件）

- ・感覚遊び
- ・理学療法士にきてもらって親子のふれあい遊び
- ・中学生以上の子との関わり方
- ・基地のこと
- ・兄弟、二人連れで来た場合の親へのサポート
- ・年齢別の遊び方、フィールド別の遊び方
- ・室内での遊び方
- ・ロープワーク
- ・発語を促す手（焦らなくてもいいけど）
- ・遊び道具をつくる
- ・昔遊び
- ・子どもと一緒に講習（親子でなく）
- ・保育園でどんな遊びをしているのか

【参加親子の感想】

- ・子どもが楽しそうで嬉しかった。
- ・泥んこ遊びは初めて。楽しかった。
- ・はじめは子どもが緊張していたが少しずつ遊びだしてうれしかった。
- ・いつもは中で遊んでいる。外で子の違う面が見られてよかった。
- ・あっという間の1時間。子どもが集中して遊んでいてよかった。
- ・いつもとは違うものに触れられて子も楽しそうでよかった。
- ・想像以上にどろんこになった。楽しかった。
- ・いつもは室内。こんなに広いとは思わなかった。
- ・プロはどういう目で安全管理をし、外遊びを展開するのか、勉強になった。
- ・子が初めての場で緊張していたが、普通の公園ではできないことができて楽しかった。
- ・公園ではできない遊び。親も遊べて楽しかった。
- ・子も楽しそう。ありがたい。
- ・初めての場。あちこち、いろいろなことができてよかった。
- ・ふだん家や公園ではできないことができた。子が生き生きしていてよかった。
- ・いろいろな遊びの中ひとつのことで集中して遊ぶ子にびっくり。
- ・新しい子の力が見られてうれしい。
- ・人が多いところが苦手な子だが楽しめてよかった。
- ・のびのび遊べてよかった。
- ・毎週遊んでいるが新しい発見があってよかった。
- ・自然をいっぱい体験できてよかった。
- ・プレイリーダー（受講者）に草を見せてもらったり話しかけてもらったりして色々なことを知ることができた。
- ・子どもはどろんこ、昔の自分みたい。服をどんどん汚して遊んでほしい。
- ・いつもは保育園で子の遊び方が見えない。今日とても楽しそうでよかった。

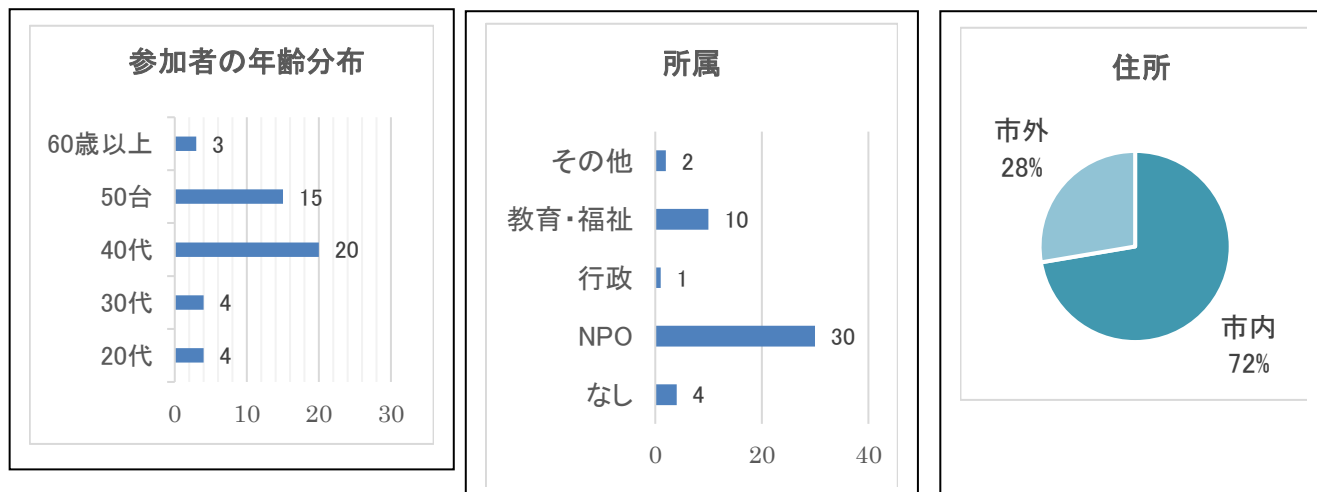
- ・子がベビーカーで寝ていたが、いろいろな人に話しかけてもらいいろいろ知れてよかった。
- ・近くにいい遊び場があってうれしい。

資料2【シンポジウム参加者アンケートの結果】

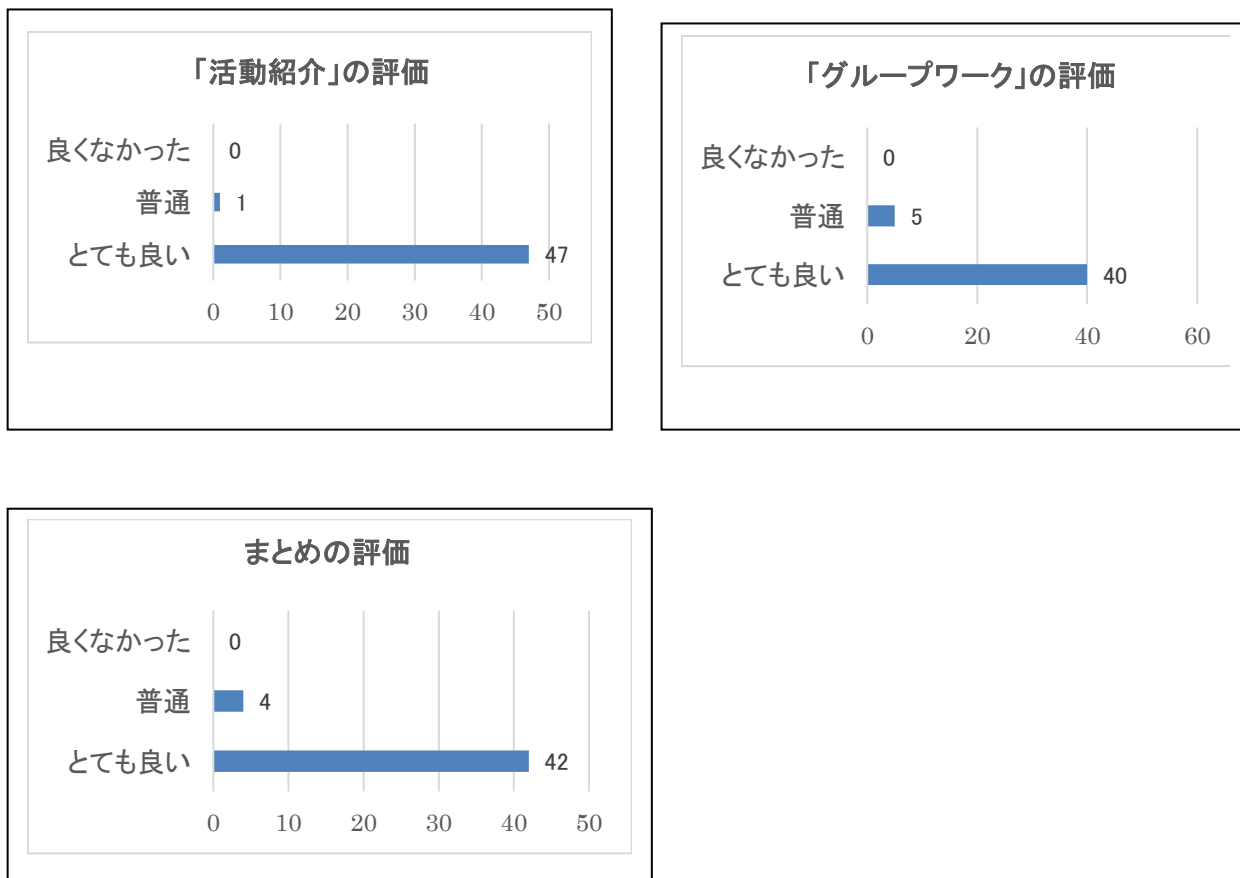
参加者数 60 名（シンポジスト、担当係長、事業担当スタッフ 8 名、見学 1 名除く）

回答者数 48 名

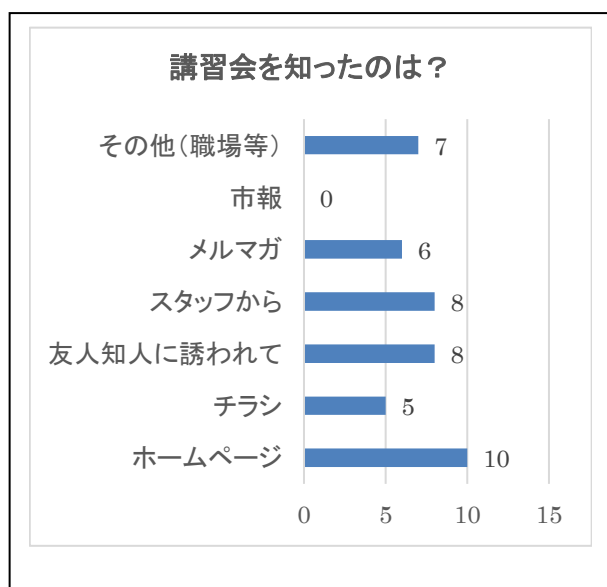
1, 参加者の属性



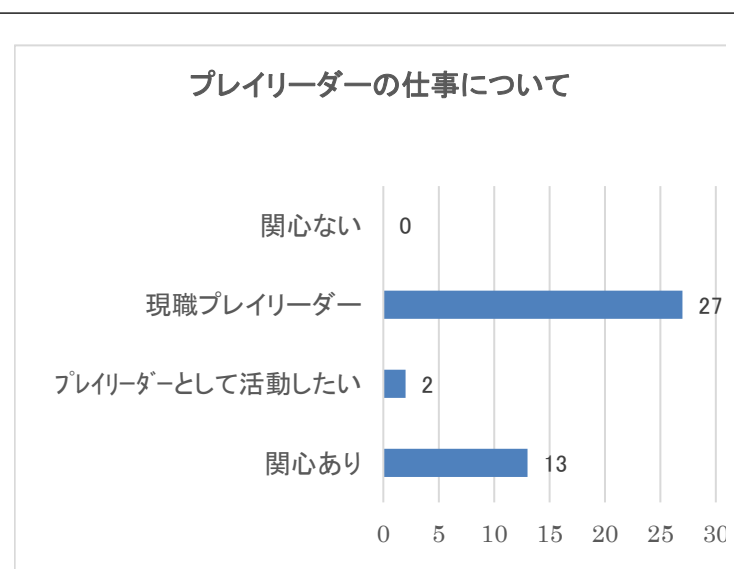
2, 内容の評価



3, 講習会を知った手立て



4, プレイリーダーへの関心は



5, どんなところが良かったですか？

- ・近くにこんなすてきな活動をしている NPO があることを知れて良かった。子どもをとりまく環境はほんとうに激変していて、どう「地域」を作っていくかは大切、緊急な課題だと思う。
- ・ここだから出来ること、やれることを考えてくれること、良い居場所があるなと思いました。
- ・改めて火が使える公園がある国分寺は恵まれているなと思いました。
- ・今まで知らなかった”また明日”の事も知れたし、青空のこと、四宮さんが子育て中に思ったこと、悩んだ事も聞けて、すごく励まされた。
- ・貴重なお話しで考えるきっかけをいただけた。ありのままの自分で話しやすい雰囲気がよかった。
- ・自分が知らない活動をしている方の話がきけたこと。普段会わない人と意見交換ができたこと。
- ・色んな意見が出たり、人それぞれの価値観などあるがお互いが認め合い理解しあえたこと、共感できたことなど、グループワークが充実していた。
- ・自分に自信がなく、どのようにしたらよいかわからない事がたくさんあるが、いろんな人がいて（いろんな大人）居場所が出来ているとのことがわかり少し自信ができました。
- ・多様な人が集まる場所は、多様なスタッフで成り立っているのがよくわかりました。
- ・「また明日」さんの事を知りたかったので、お話が聞けて良かったです。
- ・いろいろな意見が出ていろいろな考えの方がいるんだと感じました。
- ・様々な活動、事業について知ることができたこと。
- ・グループディスカッションで話すことができたこと。
- ・居場所づくりのノウハウ、具体的な Tips。
- ・それだけでなく話を聞く中で、居場所づくりで大切になる精神やフィロソフィーを感じた。

- ・はじめからグループにわかれていて話しやすかった。
- ・「また明日」「青空ひろば」それぞれの活動の奥の所を知ることができてよかったです。特に、異年齢交流である点に関心があります。
- ・施設や公園での活動の様子が具体的に知れてよかった。
- ・現場のようすをまじえて話してくださり、とてもイメージしやすかったです。
- ・グループワークでは様々な視点を交流でき、参考になりました。
- ・シンポジストの方々の理念がよく伝わってきました。
- ・グループで話せる工夫がよかったです。
- ・他団体の活動やその経験を聞いた。
- ・活動紹介をふまえていろんな人と育ちあう場について考えられてよかったです。話しあいの司会がいるのがとてもよかったです。
- ・市外の施設を知ることができて良かった。
- ・居場所のことについて皆の色々な考えをうかがえたこと。
- ・年代を超えた交流をしている団体の話を聞いたのが面白かったです。
- ・シンポジストのお2人の話がとてもわかりやすかった。どちらも居場所として、魅力的なところだと思いました。
- ・個人的には、一人でいるのが好きな方がこんなにも多いのだということが知れて良かった。
- ・自分の知らない活動を知ることができて良い学びの機会となった。
- ・自分の好きなことから、実際に居場所をやる場合に何が必要か、いろいろな意見を聴けたことがおもしろかった。
- ・シンポジストの方の話がわかりやすく、面白く、もっと聞きたい位だった。
- ・同じグループの中にもいろいろな方がいて、話を聞くのが楽しかった。
- ・いろんな人が集まる「また明日」の話が聞いた。
- ・いろんな人 → 線引きをしているのは自分自身、確かにその通りだと思った。
- ・「また明日」の森田さんのお話を伺えて良かったです。元気が出ました。
- ・具体的な活動がわかり興味がもてた。
- ・身近に感じられる内容だったり、経験等も共感できることがあり、非常に勉強になりました。
- ・「また明日」のお話がたっぷり聞くことができてとても有意義でした。
- ・写真がたくさんあって、2つの団体の日常の活動の様子がわかりました。
- ・一緒という場は、うけとめてくれる人との関係性が大事なことが再確認できた。
- ・「また明日」の良さを少しでもできたらいいなと思った。
- ・皆の考えが似ている所がすごいと思った。自分と同じ考えの方がいるとわかったのは心強い。
- ・地域の中での居場所を実際に作られている方のお話はとても心に響くものがあった。枠組みがどうしてもあったりするが、境なくいられる場があればと思う。
- ・シンポジストのお二人が自然体な感じのお話で、すーっと入ってきました。
- ・改めて「青空ひろば」の活動が良くわかった。公園ごとに活動が違うのかなとわかった。「また明日」の活動がわかった。

- ・シンポジストのお二人の活動のお話を聞けてとても良かった。
- ・進行の方がいたので話しやすかったです。いろんな年齢、所属の方がいたので関わって良かったです。
- ・いろいろな大人がいること。
- ・いろいろな話が聞けたので良かったです。
- ・「また明日」の貴重な話を聞けたこと。
- ・グループワークの発表がないのが良かったです。（結論をださなくてよい）

6, もっとこうした方が良い、など課題があれば教えてください

- ・グループワークの時間が短かった。（5件）
- ・グループワークがもっと噛み合う議論になるといいなと思いました。
- ・自己紹介10分だとお話を伺いきれなかったのも、グループでの討議の時間とのバランス（難しいとは思いますが。すみません）もうすこし前半部の自己紹介あと5分多くしてもよかったかな、と思います。
- ・欲をいえば、グループワークにもう少し設定があったほうが、ふわっとしすぎずに話せたかな、深まったかなと思います。
- ・もう少しお互いの距離を短める時間がほしかった。
- ・シンポジストと会場とのやりとりももっとしたかったです。
- ・参加者の方々との親こうが深められると良いです。
- ・もう少し、シンポジストのお話がきける時間があると良かったです。
- ・もう少し対話（シンポジストの一方的な返答でなく）があるとよかったかも。
- ・国分寺市はもちろん、市外の活動を知る機会を増やしたい。
- ・平日にやってほしい。

7, 今後どのような講習会を開催してほしいですか

- ・学校ではコミュニティスクールが話題だが、果たして国分寺の「地域」とは誰なのか、何なのかもっと話し合い掘り下げる場がほしい。
- ・不登校の子の居場所づくり。
- ・子育ての支援は増えているとのことですがどんな支援があるのか？
- ・木工、苦手だから。普段家でできないような工作づくり。
- ・また明日に行ってみたい。実際に活動の場に行きたい。
- ・仕事として子どもに関わりつつ、制限をかけなければならない…毎日泥んこで帰したら保母のお迎え時におこられるだろうな…w。
- ・遊びを通して何が育つか、冒険あそび場で育った子の話とか聞いてみたい。
- ・ハードを前提としなくても（どんな条件でも）、キックオフ・拡充していける、一歩ふみだせるような内容。
- ・発達に少し遅れのあるグレーゾーンの子どもの対応を学びたい。
- ・事例（活動）についてもっと知りたい（他市、他県）。
- ・子供との関わり方についてどういう工夫をされているか、普段関わっている方の話をききたいです。

- ・今後も子どもから大人までいろいろな活動をしている方の話を聞きたい。
- ・子ども食堂の話をまた聞いてみたい。
- ・多国籍の人が集まる居場所作りをしている団体の話を聞いてみたい。（言語や宗教がらみの工夫など…）
- ・元利用していた子ども（現大人）の気持ちを聞きたい。
- ・実践的ワーク。
- ・生きづらい思いを抱えている人、本人や家族の居場所について。
- ・食について。
- ・生きものとの触れあい。
- ・子どもの発育について。
- ・他の居場所も知れる講習会。
- ・子どもたちの関わり方、子どもたちがどんな所を居場所としているのか、子どもたちの声も聞けたらと思いました。
- ・子どもの声がうるさいなどの工夫や、子育てを孤独と感じている保護者への対応、不登校の子への対応など。実際に活動の場に行きたい。

8. その他感想など

- ・多様なひとがいる → スタッフも多様な人がいて良いのかな。と思いました。人が大事を大切にしたい。
- ・人と人とをつなぐ、あたたかい場所や人がそこにあると知るだけで、はげまされたように思った。子どもを大切に思ってくれる人がたくさんいるんだと思うとうれしい。
- ・まとめる作業がなく負担が少なかった。発表される人は大変だったと思いますが・・・
- ・日々、いろいろな人と接する（あいさつだけでも）ことの大切さを実感できた。
- ・「また明日」の活動が知れて良かったです。たくさんの住人の方に必要とされている場所がかかせない場所なのと知りました。
- ・グループ内メンバーが様々で楽しかった。自分とは違った考えも聞けた。
- ・今回初めてでしたが、とても興味深く話をきかせていただきました。子が育つ場として、（保育士ですが…）様々な人と関われる場があること、とてもステキなことだと感心し、今日お話をきけて良かったです。
- ・様々な課題の解決につながる明るいお話が聞けてよかったです。
- ・「また明日」に行ってみたいと思いました。
- ・実際にこんなことをしている方々や団体、施設の方のお話を伺うと参考になります。いろんな子どもの居場所づくりについて自身もアンテナをはってみたいです。
- ・ありがとうございました！
- ・貴重なおはなし、たくさんの方の意見がきけて考えが深まりました。
- ・グループワークで話したようなことが実現できたら良いと思えた。
- ・とても参考になりました。一人の時間を大切に、また一人時間も尊重してくれる居場所、大賛成でした。
- ・子どもからお年寄り、様々な人が集える場所が、たくさん増えていくといいと思いました。「また明日」見学に行かせていただきたいです。

- ・様々な人との意見を交わすことができ、良い経験となりました。
- ・多様な人々とどう楽しくつながれるか、自分たちの多様な意見と意見をききながら、とりとめのない話をできたことが楽しかったです。
- ・「青空ひろば」では子どもと親の為の支援に絞られてはいるが、その限られた枠の中で関わった市民と異世代交流が生まれている。
- ・「また明日」さんは立ち上げたご夫妻が、従来の施設の枠を取り払った。どの様にデイや保育と寄り合いが共存しているのか興味深かった。
- ・また機会がありましたら参加したいと思います。
- ・グループワークでいろいろな話が出ておもしろかったです。
- ・皆さんの顔が見れて意見が聞けて良かった。「また明日」に行ってみたいと思った。
- ・「一緒」と「ひとり」、2つのことばをかみしめる時間になりました。
- ・多様性についての印象が変わりました。
- ・「また明日」の活動がすごくステキだと思った。血のつながらないお年寄りとお赤ちゃんの関係。楽しんでいる両者。イイなあ〜と思いました。
- ・森田さん、本当に素晴らしい方だと思いました。「また明日」行ってみたいです。
- ・子どもに関わる仕事をしているので、どんな人がいるのかどんな人が集まっているのか、くわしく聞けて良かったです。
- ・普段、仕事をしているので実際に参加がむずかしい所もありますが、活動のようすをうかがうことができて良かった。

学年（年齢） 学年（年齢）	小学1年2年 小学1年2年	3年 4年 3年 4年	5年 6年 5年 6年	中学生 中学生	高校生 高校生	その他 その他	無回答 無回答	無効（大人の回答） 無効（大人の回答）	
	29	28	30	7	1	0	6	1	
性別 性別	男 男	女 女	無回答 無回答						
	43	57	1						
住所 住所	国分寺市 国分寺市	小平市 小平市	小金井市 小金井市	立川市 立川市	国立市 国立市	青梅市（2） 府中市（1）			
	87	11	0	0	0				
はじめて来たの？ はじめて来たの？	はい はい	いいえ いいえ	無回答 無回答						
	30	70	1						
楽しかったですか？ 楽しかったですか？	はい はい	いいえ いいえ	無回答 無回答	普通 普通					
	97	2	1	1					
何が楽しかったですか？ 何が楽しかったですか？	シャボン玉 スライム作り	穴掘り 泥遊び 水遊び	こま ベーゴマ	ひみつ基地 づくり	火の体験 火の体験	おしゃべり おしゃべり	室内あそび 室内あそび	鬼ごっこ 鬼ごっこ	
	16	8	5	13	38	21	22	23	
	工作 （当矢を巻む）	山で遊ぶ 山で遊ぶ	生き物 さがし	すべり台 すべり台	【その他】ゲーム（1）カフェバイト（1）料理（1） ぶんぶんワークのフラッグ作り（1）ここで遊ぶ （1）コリント（1）ままごと（1）手伝い（2）タ 替れ（2）ぶらんこ（2）だがしや（7）				
	17	12	14	32					
ブレイステーションではどんな遊び がしたいですか？	基地作り 基地作り	木工工作 （当矢を巻む）	穴掘り 穴掘り	泥遊び 泥遊び	手芸 （毛糸や布や革など）		陶芸 陶芸		
	16	8	5	13	10		7		
	水遊び 水遊び	釘ナイフ 釘ナイフ	くぎさし くぎさし	どろだんご作り どろだんご作り	こま ベーゴマ	火おこし 火おこし	ごはん作り おやつ作り		
	16	12	8	6	8	25	25		
	ブランコ ブランコ	すべり台 すべり台	ボルダリング ボルダリング	スケート ボード	迷路 迷路	虫取り 虫取り	まんが まんが		
	24	20	4	9	13	6	16		
	本 本	ボード ゲーム	トランプ トランプ	カード ゲーム	おしゃべり おしゃべり	卓球 卓球	工作 工作		
	12	14	11	11	16	13	16		
	【その他】 室内遊び（1）コリント（1）スライム（1）カフェバイト（1）								
大人のスタッフ（プレイリーダー） はどんな感じでしたか？	よい よい	悪い感じ 悪い感じ	普通 普通	無回答 無回答					
	90	1	3	7					
また来たいですか？ また来たいですか？	はい はい	いいえ いいえ	無回答 無回答						
	97	1	3						
なにかいやなことが ありましたか	・基地に土を入られた ・年上がうざい ・お菓子が高い ・お兄ちゃんたちにいじられた。								
だがしやを利用したことは ありますか	はい はい	いいえ いいえ	無回答 無回答						
	93	8	0						
だがしやをまた利用したい ですか	はい はい	いいえ いいえ	無回答 無回答						
	94	6	1						
だがしやで お仕事体験はしてみましたか	はい はい	いいえ いいえ	無回答 無回答						
	65	36	0						
だがしやのお仕事体験は 楽しかったですか	はい はい	いいえ いいえ	無回答 無回答						
	61	29	9						
だがしやのお仕事体験を またしてみたいですか	はい はい	いいえ いいえ	無回答 無回答						
	69	25	7						
カフェーにちちを利用したこ とがありますか	ある ある	ない ない	無回答 無回答						
	28	71	7						
どーにちちでなにを 買いましたか 買ったものをぜんぶえらんでね	コーヒー コーヒー	スパイスティー スパイスティー	ハーブティー ハーブティー	メイヤーレモン メイヤーレモン	サワードリンク サワードリンク	スカッシュ フroot	カフェオレ カフェオレ	スープ スープ	
	5	0	0	3	3	0	3	1	
	チャイ チャイ	そのた そのた							
	3	3							
	ともしび クッキー	コメコビス コメコビス	パウンドケーキ パウンドケーキ	チーズケーキ チーズケーキ	コーン蒸し パン	フォッカチャ フォッカチャ	ケーキサレ ケーキサレ	ピザ ピザ	
	11	4	10	6	5	0	0	1	
	スコーン スコーン	そのた そのた							
	4	0							
どーにちちでなぜ買ったか ほしいものがあたら書いてね	・高い ・あまりひょうはんがよくなかったから ・だめと言われた ・お金がない（2） ・あまり来ない ・ワンコイン弁当 ・ボンディング ・コーラ ・ココア ・ぶどうジュース ・チョコクッキー ・チーズケーキ								
どーにちちでお仕事体験 してみたいですか	はい はい	いいえ いいえ	無回答 無回答	微妙 微妙					
	39	22	39	1					

言いたいことがあれば書いてください

別紙

【意見など】

- トランポリンがしたい
- 遊具を増やしてほしい（6）
- 自給自足してほしい
- いつもありがとう
- マンガを増やしてほしい
- サッカーやドッチボールの場所がない
- 滑り台の3階から2階に降りるのに階段が欲しい
- もっと楽しくしてってください
- ヨギボーを増やしてほしい
- うんていがほしい
- スケートボード場
- シールがなくなった
- 電車があったほうがいい
- 2階建ての基地が欲しい
- だがしやの時間をもっとはやくしてほしい（2）
- これからもみんなの居場所としてがんばってね！
- プレステは楽しくていい場所だと思います（2）
- 月曜日、日曜日もやってほしい
- どーにっちはなんですか

いけん 子どもからの意見 回答

・トランポリンがしたい

⇒ トランポリン、いただきました。いつでも出せるわけじゃないと思うけど、プレイリーダーに相談してみてください！

ゆうぐ ・遊具を増やしてほしい

⇒ どんな遊具がいいかな？具体的なアイデアがあれば、実現するかもしれないよ。一緒に考えてくれませんか？

じきゅうじそく ・自給自足してほしい

⇒ 基地エリアの方に 畑 を準備しているよ。一緒に好きな作物を育ててみませんか？

ふ ・マンガを増やしてほしい

⇒ みんながマンガを大事に 扱 っていれば（読み終わったら本棚に戻す、など）、マンガを増やせると思います！

き ふ
寄付をつのるポスターなど、かいてみませんか？

ばしよ ・サッカーやドッチボールの場所がない

⇒ ボール遊びは楽しいですねえ。万が一、横の線路やお隣の畑にボールが入ってしまったり、電車を止めてしまったり作物をダメにしてしまわないか心配なので、プレイステーションではできないのですよ。近くの窪東公園では広い広場があるので、そこでやるようにお願いします。

かい かい お かいだん ほ ・すべり台の3階から2階に降りるのに階段が欲しい

⇒ 降りやすくしてしまうと、高い場所の危なさがよくわからない人もいるのではないかと心配しています。どんなアイデアがあるか、一緒に考えてほしいな。

ふ ・ヨギボーを増やしてほしい

⇒ 考えてみます

・うんていがほしい

⇒ 考えてみます！どのあたりにあるといい？

でんしゃ ・電車がいったほうがいい

⇒ どんな電車かな？一緒に作ることはできるかな？

じかん ・だがしやの時間をもっとはやくしてほしい

⇒ 来年度に向けて考えます

げつようび にちようび ・月曜日、日曜日もやってほしい

⇒ 第2・4日曜日はやっています

年齢	18歳～20歳代	30歳代	40歳～60歳	61歳以上	無回答		
	6	48	40	5	3		
性別	男	女	無回答				
	30	72	0				
住所	国分寺市	小平市	小金井市	立川市	国立市	【その他(7)】昭島市(2)東村山市(2)東大和市(1)稲城市(1)青梅市(1)	
	66	26	1	2	0		
利用頻度	初めて	年数回程度	月1回程度	週1回程度	週に何回も	無回答	
	12	22	27	30	7	4	
来るきっかけ	友だちに誘われた	ホームページ	口コミ	市報パンフレット	チラシ	他の遊び場で紹介	無回答
	27	9	9	12	5	12	3
お子さんの年齢	幼稚園前	幼稚園	小学1、2年	3、4年	5、6年	中学生	高校生
	40	44	33	13	5	0	0
楽しかったですか	はい	いいえ	無回答				
	98	0	4				
どのような遊びが面白いと思いましたか（子どもの遊び）	シャボン玉スライム作り	穴掘り泥遊び水遊び	こまペーこま	ひみつ基地づくり	火の体験	おしゃべり	室内あそび
	32	57	10	17	40	15	52
	工作（弓矢を含む）	スケートボード	生き物さがし	滑り台	【その他】ブランコ（4）お絵かき（2）三輪車など（2）エアホッケー（1）どろだんこ（1）駄菓子屋バイト（1）音を出すおもちゃ（1）外のおもちゃ（1）		
	37	4	14	35			
プレイステーションではどんな遊びがしたいですか？ あったらいいなと思うものはありますか	基地作り	木工作	どろ遊び	火起こし	遊具	水遊び	音遊び
	29	41	49	46	34	48	26
	陶芸	料理	手芸	室内遊び	まんが	絵本	ボードゲーム
	32	33	23	19	7	12	13
	スケートボード	【その他】モルック（1）だがブレ（1）プール（1）水鉄砲（1）					
2							
大人のスタッフ（ボランティア）の対応は良かったですか	良い	良くない	無回答				
	97	0	4				
だがしやを利用したことはありますか	はい	いいえ	無回答				
	74	27	1				
だがしやをまた利用したいですか	はい	いいえ	無回答				
	83	5	14				
だがしやのお仕事体験に興味はありますか	はい	いいえ	無回答		わからない		
	79	16	6		1		
カフェーにちちを利用したことがありますか	はい	いいえ	無回答				
	36	65	1				
どーにっちの利用のきっかけ	友だちに聞いた	ホームページ	インスタグラム	市報	チラシ	その他 その場で（9） 近所（1）	
	7	4	5	2	3		
どーにっちを誰と利用しましたか	夫婦	友だち	ひとりで	その他 家族（子ども・孫を含む） 13			
	14	10	9				
どーにっちでは何を購入しましたか	コーヒー	スパイスティー	ハーブティー	メイヤーレモン	サワードリンク	スカッシュフroot	カフェオレ
	21	6	6	4	1	3	2
	スープ	チャイ	その他				
	0	8	3				
	ともしびクッキー	コメコビス	パウンドケーキ	チーズケーキ	コーン蒸しパン	フォッカチャ	ケーキサレ
	12	1	19	1	3	0	2
	ピザ	スコーン	その他				
0	0	1					
どーにっちを利用しなかった理由	・土日に来ない（7） ・和らなかった（6） ・時間外だった（6） ・子どもと遊んでいるため（3） ・機会がなかった（2） ・昼食持参（1） ・昼食後に来る（1） ・時間がない（1） ・財布を忘れた（1） ・全部頼むと高くなる（1）						

ご意見・感想・提案などあれば記入してください

【スタッフ】

- ・スタッフにはお世話になっています（多数）
- ・スタッフの対応が親切（4）
- ・スタッフの距離感がよい（1）
- ・スタッフの声掛けが明るくて積極的に話しかけてくれる（2）
- ・PLが教えてくれるのがいい（2）

【遊び】

- ・とても楽しい（多数）
- ・子どもたちが自由にのびのび遊べる素敵な遊び場でありがたい（13）
- ・長く過ごせる（4）
- ・子どもが自分で工夫して遊べる（2）
- ・子どもが学べる（2）
- ・大人も子どもも学べる場なので継続して運営してほしい（1）
- ・子どもがワクワクする場（3）
- ・普段体験できない火起こしができる（3）
- ・普段できない体験ができる（3）
- ・無料（3）
- ・子どもに免疫力がついた（1）
- ・苦手なこと（どろ等）ができるようになった（1）
- ・子どもだけでこられるのがありがたい（1）
- ・大人も癒される（2）
- ・家ではできない遊びができる（2）
- ・放課後遊べるのがいい（1）
- ・安心して見ていられる（3）
- ・安全（3）
- ・自然がたくさんある（2）
- ・日曜日に開いているのがいい（2）
- ・手作り遊具がいい（1）
- ・室内遊びができる（3）
- ・貸長ぐつがありがたい（1）
- ・だがしややどーにっちが息抜きになる（2）
- ・だがしがいい（1）
- ・国分寺の魅力となっている（3）
- ・どーにっちを利用してみたい（1）
- ・こどもが工作に興味があるので作ってみたい（1）
- ・平日は土日より空いているのでのびのびできた（1）
- ・パウンドケーキがおいしい。子どもも大好き（1）
- ・一直線に走れる場所があってありがたい（1）
- ・外遊びをしてほしい（室内より）（1）

【改善してほしい】

- ・作業用の椅子がほしい
- ・工具が使いづらい
- ・筆、絵具が足りない
- ・日曜日の開いている日を掲示してほしい
- ・1階におむつ交換できる場所がほしい
- ・まつりをもっと知ってほしい
- ・こどもまつりのようなイベントを増やして
- ・木が育って日陰ができるといい
- ・平日に弁当などの販売があるといい
- ・幼児用のスコップがあるといい
- ・平日の午前に乳幼児が集まるといい
- ・日曜日に親子ひろばをやってほしい
- ・植物が多いといい

【提案】

- ・キャンプ（宿泊あり）
- ・お泊り会

大人からの意見 回答

- 作業用の椅子がほしい
 - ⇒ 作ってみます。材料はたくさんあるので、利用者の皆様にもぜひ釘とトンカチとで挑戦していただけるとありがたいです！
- 工具が使いづらい
 - ⇒ 切りにくいノコギリは、刃が欠けていたり、曲がっていたりする可能性があります。これを防ぐには、ノコギリを木材に叩きつけたりせず、真っ直ぐ引いて使うことが大事です。その他お気づきの点がありましたら、ぜひお申し出ください！
- 筆、絵具が足りない
 - ⇒ どちらも足りなくなりそうなら都度、補充します。落ちている筆など、拾っていただけると助かります！
- 日曜日の開いている日を掲示してほしい
 - ⇒ 検討します
- 1 階におむつ交換できる場所がほしい
 - ⇒ 1 階の誰でもトイレでオムツ交換できます
- まつりをもっと知ってほしい
 - ⇒ 知ってほしいです。知ってもらう方法を一緒に考えましょう
- こどもまつりのようなイベントを増やして
 - ⇒ 3 月 4 日に大人向けのイベント「プレステマルシェ」をやります
- 木が育って日陰ができるといい
 - ⇒ 大型のテントがあります。広げる際に 6 人ほどの人手が必要なので、お手伝いをお願いするかもしれませんが、暑い時はぜひお申し出ください
- 平日に弁当などの販売があるといい
 - ⇒ 各個人の責任においてケータリングを利用することは可能です
- 幼児用のスコップがあるといい
 - ⇒ 購入します。また、プラスチックのスコップがすでにいくつかございます。お使いください
- 平日の午前に乳幼児が集まるといい
 - ⇒ 自主保育グループが活動しています
- 日曜日に親子ひろばをやってほしい
 - ⇒ 今後は講座などで日曜日に開く機会があるかもしれません
- 植物が多いといい
 - ⇒ 子どもの遊びを豊かにするには、どんな植物があると良いですか？ぜひお知恵をおかしてください！
- キャンプ（宿泊あり）
 - ⇒ 検討します
- お泊り会
 - ⇒ 検討します

令和5年度国分寺市親子ひろば事業アンケート

実施期間 令和5年9月1日(金)～30日(土)

今後のよりよい事業運営のため、アンケートにご協力ください

本日利用のひろばについて、下記の項目のうち当てはまるものに○を、その他を選択された方は、()内に内容を記入してください

1	利用目的は (いくつでも)	1 他の利用者 との交流	2 スタッフと 話をしたい	3 子どもを 遊ばせたい	4 子どもに ついての相談	5 自分の 悩み相談	6 とりあえず… なんとなく…	7 その他 (記入されたコメントを入力)				
2	利用の きっかけ	1 友達に 聞いて	2 インターネット (母子手帳アプリ含む)	3 市報・チラシ・ パンフレット	4 他の親子ひろ ばからの紹介	5 産婦新生児 訪問での紹介	6 1歳6か月児、 3歳児健診 での紹介	7 ゆりかごこふんじ 画後や保健師から の紹介	8 乳幼児相談 からの紹介	9 その他 (コメントを入力)		
3	今年スタッフに 相談したことがある	1 なし	2 ある	……→	相談した後の 気持ちを5段階で 教えてください (それぞれ○はひとつ)	もやもや	1	2	3	4	5	すっきり
4	今年他の利用者に 相談したことがある	1 なし	2 ある	……→	相談した後の 気持ちを5段階で 教えてください (それぞれ○はひとつ)	もやもや	1	2	3	4	5	すっきり
5	ひろばに対して、どのくらい満足していますか。5段階で教えてください (○はひとつ)					不満	1	2	3	4	5	満足

ここからは、本日利用のお子さん(妊娠中の方は、お腹のお子さん)と御家族について、おききます。
当てはまるものに○、または人数を記入してください

6	お子さんの年齢を教えてください(○は ひとつ)	1 6か月未満	2 1歳未満	3 1歳児	4 2歳児	5 3歳児	6 4歳児	7 5歳児以上	
7	お子さんからみての続柄を教えてください(○はひとつ)	1 父	2 母	3 祖父母	4 プレママ	5 プレパパ	6 保育者 (預かりを含む)		
8	御家庭内のお子さんの数を教えてください	人				9 利用のお子さんのお母さまは、現在妊娠してい ますか(○はひとつ)	1 はい	2 いいえ	

ここからは、国分寺市内の親子ひろばについて、おききます。当てはまるものに○をしてください

10	市内親子ひろばの利用頻度を教えてください(○はひとつ)	1 週3回以上	2 週2回ぐらい	3 週1回ぐらい	4 月2回ぐらい	5 月1回ぐらい	6 年に数回	7 はじめて	
----	-----------------------------	---------	----------	----------	----------	----------	--------	--------	--

令和4年度親子ひろばアンケート結果

令和5年度国分寺市親子ひろば事業アンケート									
実施期間 令和5年9月1日(金)～3日(土)									
※利用のひろばについて、下記の項目のうち当てはまるものに○を、その他を選択された方は、()内に内容を入力してください									
1 利用のきっかけ	2 利用の目的	3 スタッフへの相談経験	4 子どもの相談経験	5 子どもの年齢	6 子どもの性別	7 子どもの利用回数	8 子どもの利用回数	9 子どもの利用回数	10 子どもの利用回数
1 利用のきっかけ	2 利用の目的	3 スタッフへの相談経験	4 子どもの相談経験	5 子どもの年齢	6 子どもの性別	7 子どもの利用回数	8 子どもの利用回数	9 子どもの利用回数	10 子どもの利用回数
1 利用のきっかけ	2 利用の目的	3 スタッフへの相談経験	4 子どもの相談経験	5 子どもの年齢	6 子どもの性別	7 子どもの利用回数	8 子どもの利用回数	9 子どもの利用回数	10 子どもの利用回数
1 利用のきっかけ	2 利用の目的	3 スタッフへの相談経験	4 子どもの相談経験	5 子どもの年齢	6 子どもの性別	7 子どもの利用回数	8 子どもの利用回数	9 子どもの利用回数	10 子どもの利用回数
1 利用のきっかけ	2 利用の目的	3 スタッフへの相談経験	4 子どもの相談経験	5 子どもの年齢	6 子どもの性別	7 子どもの利用回数	8 子どもの利用回数	9 子どもの利用回数	10 子どもの利用回数
1 利用のきっかけ	2 利用の目的	3 スタッフへの相談経験	4 子どもの相談経験	5 子どもの年齢	6 子どもの性別	7 子どもの利用回数	8 子どもの利用回数	9 子どもの利用回数	10 子どもの利用回数
1 利用のきっかけ	2 利用の目的	3 スタッフへの相談経験	4 子どもの相談経験	5 子どもの年齢	6 子どもの性別	7 子どもの利用回数	8 子どもの利用回数	9 子どもの利用回数	10 子どもの利用回数
1 利用のきっかけ	2 利用の目的	3 スタッフへの相談経験	4 子どもの相談経験	5 子どもの年齢	6 子どもの性別	7 子どもの利用回数	8 子どもの利用回数	9 子どもの利用回数	10 子どもの利用回数
1 利用のきっかけ	2 利用の目的	3 スタッフへの相談経験	4 子どもの相談経験	5 子どもの年齢	6 子どもの性別	7 子どもの利用回数	8 子どもの利用回数	9 子どもの利用回数	10 子どもの利用回数

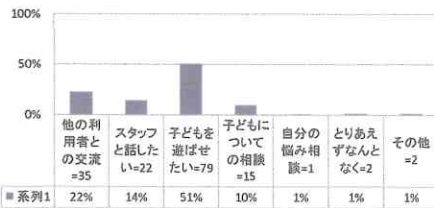
BOUKENだんどこ 親子

回答数

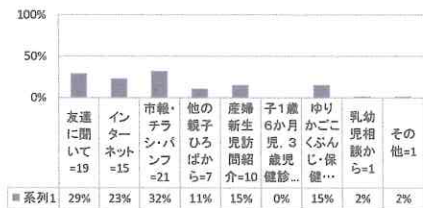
80

お子さんの人数 (平均)	妊娠している
1.45	2

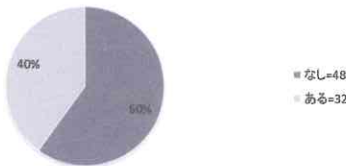
1 利用目的



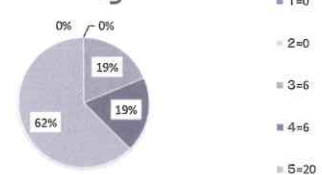
2 利用のきっかけ



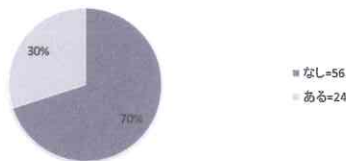
3-1 スタッフへの相談経験



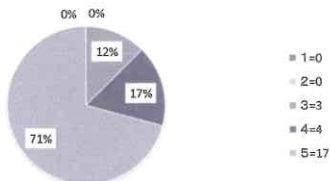
3-2 スタッフへ相談した後の気持ち



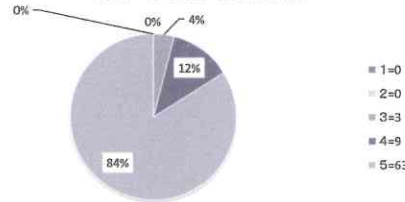
4-1 他利用者への相談経験



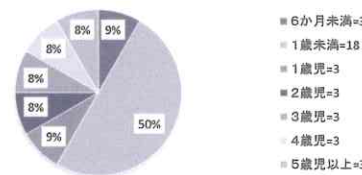
4-2 他利用者への相談後の気持ち



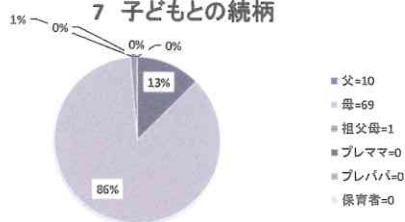
5 親子ひろばの満足度



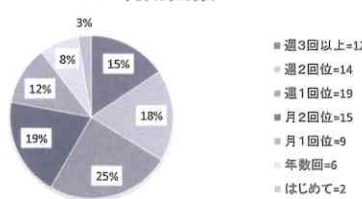
6 子どもの年齢



7 子どもとの続柄



10 利用回数



・以前は皆でお昼ごはんを作って食べたりしていたと聞きました。今後そういった事ができたらうれしいなと思います。いつもここの広場に来ていると心落ちつきます。ありがとうございます。

⇒感染症リスクの高い鍋料理などはまだできませんが、あぶって食べることや焼いて食べることならできます。プレイリーダーに声をかけてください。(ただし、混雑している時や強風の日火起こしができません。)

・どんどこにくるようになって子供が人見知りをしなくなりました。居心地の良い雰囲気を作ってくださりありがたいです。

・ありません。いつもありがとうございます。

・初めて利用した際にたくさん声をかけて頂きとてもうれしかったです。スタッフの方のお心づかいにいつも助かっています。ありがとうございます。

・とても居心地が良く親子ともに楽しく過ごさせてもらっている。沢山おもちゃがあり、たまに新しいおもちゃも入ったり、ダイナミックなおもちゃもあり、子供が楽しく飽きずに遊べる。壁面も季節に合わせて変わったり、情報も得られて助かっている。スタッフさんの皆さんがとても良くしていただいて心地良く過ごせてもらっています。

・キレイですずしいので夏でもありがたいです。スタッフの方々の声掛けが嬉しいです。

・いつもありがとうございます。

・たくさん遊ばせてもらってありがとうございます！！大きいサイズの洋服も助かります。

・親子ともどもいつも楽しく過ごさせて頂いています。平日は母子で、土日は父と子でと我が家ではなくてはならない遊び場、居場所となっています。いつもありがとうございます。

・毎週のように利用させて頂いていて子供が体を使う事が出来、他の子供さんとの交流もあってとても助かっています。歩けるようになったので涼くなってから外の利用もしようと思っていてとても楽しみです。今後も利用させて頂きたいと思っています。

・いつも楽しく利用させて頂いています。ほぼ毎日来るので、子どもも私も仲良しの人(子)ができて楽しいです。いつ来ても暖かく出迎えてくれて嬉しいです。日替わりで専門職の方がいるのも、相談できて助かっています。

・今の時期、外が暑いのでとても助かってます！ありがとうございます。

・いつも明るく楽しいスタッフの方たちのおかげで居心地良く遊ばせて頂いております。年齢が幅広く(館内)遊べるのもありがたいです。これからも利用させて頂きます。

・色々なおもちゃがあってとても良いと思います。

・夏の暑い日や小さな子供と出かける場所としてよく利用させて頂いていました。他の子と交流したり親以外の大人とふれあうことで誰とでも話せる子供になってきました。児童館を小さな頃から利用する意義が子供2才をむかえようとするタイミングで分かりました。

・だがし、cafe などあり楽しいです。いつもありがとうございます。音楽遊びなどがあると楽しいと思う。

⇒ご意見ありがとうございます。音楽遊びも取り入れていきたいと思っています。

・親子ひろばで日頃から一緒に過ごせるお友達がたくさんできました。中々、日々手が空かない事も多いので、30分～1時間程度の保育制度等もあれば助かる人が沢山いると思います。

⇒保育制度の件、市に要望を伝えます。BOUKEN どんどこでは、11月から、利用者と一緒に行う預け合いを導入します。詳しくはスタッフにお尋ねください。

・スタッフの方々がとても親切にしてくださるので子ども母も楽しませて頂いています。上の子のトイレや下の子

の遊びにつきあっている際もう一方の子を見てくださる事がとても助かっています。いつもありがとうございます。

・家の近くに親子ひろばがあり、いつも助かっています。主人と娘が参加できるような企画がまたあると嬉しいなと思います。

⇒父にも参加しやすい企画を定期的に開催していく予定です。

・遊び場をあまり知らなかったなのでこの施設を知り遊ばせることができて良かったです！スタッフの方に他の遊び場も教えて頂きとてもありがたかったです。これから利用させて頂こうと思います。

・日曜日、祝日にも利用できる場所があると嬉しい。

⇒第2・第4日曜日は、プレイステーションの屋外と1階スペースは開場しています。ぜひご利用ください。

それ以外の日曜日と祝日については、市に要望を伝えます。

・子どもを気軽に連れてこられる場所があつてとても助かっています。子どももここに来ると楽しく遊べると分かっているようで毎回楽しくすごしています。ありがとうございます。

・室内で遊べるのがいいです。

・妻が育休中にとってもお世話になりました。子供に対していつも笑顔で優しく接していただきありがとうございます。これからも利用したいと思いますのでよろしくお願いします。

・いつも楽しい遊び場を提供いただきありがとうございます。

・スタッフの方がよく手をかして下さり助かります。公園とはちがうアクティブなあそびができてよいです。

・スタッフの方が優しい。子どものことを覚えていてくれる。そうじなどきちんとしてくれていて安心できる。

・いつも楽しく利用させてもらっています。子ども2人連れている時にサッと手助けしてくれるスタッフさんの方々には感謝しかないです。いつもありがとうございます！！

・時間が長いのでとてもありがたい（土曜日も）市外もOKなのでうれしい。スタッフの皆さんがとてもやさしく接しやすい！！

・同じ歳の会があれば嬉しいです。

⇒0歳児は赤ちゃんタイム、1歳児は10月に仲間作り講座、2、3歳児は主にプレイステーションの屋外で活動している自主保育グループをおすすめしています。今後、1歳児については、仲間作り講座を定期的に開催していきたいと思っています。

・良い遊び場、環境でとても良いと思います。

・市内の親子ひろばは月曜日がやっていない所が多く、1日の過ごし方に悩む。もう少し休みの日がばらついてくれると助かる。コロナの影響もあってか時間交代制の所もあるが、中々その時間に行くこと厳しくあきらめることが多い。

⇒市に要望を伝えます。時間交代制のひろばについては、部屋が小さく、人数制限が厳しいため、交代制となっています。感染症が落ち着いた後には、利用人数の制限が緩和されるといいですね。

・幅広い年代の子が遊べてよいと思います。年長者が下の子をケアできるのも○

・いつもありがとうございます。

・いつも安心して利用させていただいています。困ったときはいつも来て相談させていただき助かっています。だっこひも講座や性教育などのイベントを土よう日にもやってほしいです。パパ向けの講座もお願いしたいです。他の親子ひろばもたまごやどんどこと同じくらいのスタッフさんの人数がいるとうれしいです。(もっとスタッフさんと話したい)

⇒抱っこひも講座と性教育のイベントを土曜日にも開催できるよう、講師の先生に相談してみます。パパ向けの講座も企画していきたいと思っています。

・子どものあそび場として、とても良い、ありがたい環境です。夏は、サマータイムのように、もう少し早く開いていると助かったなーと思いました。

⇒夏の暑さが厳しかったですね。市に要望を伝えます。

・気軽に行けて子どもを遊ばせられるので、いつも助かっています。ありがとうございます。

・外の遊具が少し古いように見えるので、改修して欲しい。長く続けて欲しい。

⇒毎日、プレイリーダーが安全点検を行っています。また、安全に遊べるように、適宜、改修を行っています。

・いつもありがとうございます。

・他の親子ひろばのスタッフさんより、子供たちとたくさん遊んでくださったり、トイレに行ったりする際、気軽に声をかけられる雰囲気を作って下さり楽しんで来ることができます。ありがとうございます！

・11 カ月頃から来るようになったのですが、もっと前から利用すれば良かった！外遊びももっと利用したいです。

・いつもお世話になっています。どんどこはごはんもたべれて、おもいっきりあそんだ後にシャワーもできてたすかります。ぶんバスでも立川バスでもいいので交通の便がよくなるとうれしいです。

⇒市に要望を伝えます。

・色々な場所に広場があり、たすかっています。スタッフの方々も子供も名前を覚えて下さり、色々な話をする事ができるので、親も良い気分転換になってます。

・なかなか男性が来づらいようなのでお父さん向けのイベントをもっと開催して頂けると嬉しいです。

⇒お父さん向けイベント、できるだけ開催できるように計画していきます。

・可能であれば、各児童館を交代で日曜日にも運営頂きたいです。

⇒市に要望を伝えます。

・スタッフの方の人数も多く、よく目が行き届いていると思います。明るく清潔でとても利用しやすいです。

・いつもお世話になっています。どのスタッフさんも優しくて温かくて親子ともに大好きな場所です！息子と娘がだがし屋さんでお仕事できる姿が見れるくらいまで長〜く通わせていただきます。

・気にかけて声をかけてくださり、いつもありがとうございます。都度悩みも聞いていただき助かっています。遊ぶ場もあり、娘にもよい刺激となっています。

・利用される方が多くてたくさんお話ができて嬉しいです。授乳室にクッションがあったら嬉しいな〜と思いま

した。

⇒感染症も落ち着いて来たので、適宜、クッションなど、洗濯ができるものを用意したいと思っています。

- ・いつも優しく声かけしてくださり感謝しています。
- ・母の息抜きにもあり利用して良かったです。（他のお母さんとお話できたりするので）
- ・いつも親子共々お世話になっております。安心してあそばせて頂いております。ありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます！
- ・駐車場の利用について不便な点を伝えたらすぐに改善してもらえ、感動しました。

11. お気づきの点・ご感想など(回答書)

BOUKENだんどこ 親子ひろば

以前は皆でお昼ごはんを作って食べたりしていたと聞きました。今後そういった事ができたらうれしいなと思います。いつもこの広場に来ていると心落ちつきます。ありがとうございます。

⇒感染症リスクの高い鍋料理などはまだできませんが、あぶって食べることや焼いて食べることならできます。プレイリーダーに声をかけてください。(ただし、混雑している時や強風の日火起こしができません。)

だがし、cafeなどあり楽しいです。いつもありがとうございます。音楽遊びなどあると楽しいと思う。

⇒ご意見ありがとうございます。音楽遊びも取り入れていきたいと思っています。

親子ひろばで日頃から一緒に過ごせるお友達がたくさんできました。中々、日々手が空かない事も多いので、30分～1時間程度の保育制度等もあれば助かる人が沢山いると思います。

⇒保育制度の件、市に要望を伝えます。BOUKENだんどこでは、11月から、利用者と一緒に行う預け合いを導入します。詳しくはスタッフにお尋ねください。

家の近くに親子ひろばがあり、いつも助かっています。主人と娘が参加できるような企画がまたあると嬉しいなと思います。

⇒父にも参加しやすい企画を定期的開催していく予定です。

日曜日、祝日にも利用できる場所があると嬉しい。

⇒第2・第4日曜日は、プレイステーションの屋外と1階スペースは開場しています。ぜひご利用ください。

それ以外の日曜日と祝日については、市に要望を伝えます。

同じ歳の会があれば嬉しいです。

⇒0歳児は赤ちゃんタイム、1歳児は10月に仲間作り講座、2、3歳児は主にプレイステーションの屋外で活動している自主保育グループをおすすめしています。今後、1歳児については、仲間作り講座を定期的開催していきたいと思っています。

市内の親子ひろばは月曜日がやっていない所が多く、1日の過ごし方に悩む。もう少し休みの日がばらついてくると助かる。コロナの影響もあってか時間交代制の所もあるが、中々その時間に行くこと厳しくあきらめることが多い。

⇒市に要望を伝えます。時間交代制のひろばについては、部屋が小さく、人数制限が厳しいため、交代制となっています。感染症が落ち着いた後には、利用人数の制限が緩和されるといいですね。

いつも安心して利用させていただいています。困ったときはいつも来て相談させていただき助かっています。だっこひも講座や性教育などのイベントを土曜日にもやってほしいです。パパ向けの講座もお願いしたいです。他の親子ひろばもたまごやだんどこと同じくらいのスタッフさんの人数がいるとうれしいです。(もっとスタッフさんと話したい)

⇒抱っこひも講座と性教育のイベントを土曜日にも開催できるよう、講師の先生に相談してみます。

パパ向けの講座も企画していきたいと思っています。

- ・ 子どものあそび場として、とても良い、ありがたい環境です。夏は、サマータイムのように、もう少し早く開いていると助かったな—と思いました。
⇒夏の暑さが厳しかったですね。市に要望を伝えます。
-

- ・ 外の遊具が少し古いように見えるので、改修して欲しい。長く続けて欲しい。
⇒毎日、プレイリーダーが安全点検を行っています。また、安全に遊べるように、適宜、改修を行っています。
-

- ・ いつもお世話になっています。どんどんこはごはんもたべれて、おもいきりあそんだ後にシャワーもできてたすかります。ぶんバスでも立川バスでもいいので交通の便がよくなるとうれしいです。
⇒市に要望を伝えます。
-

- ・ なかなか男性が来づらいようなのでお父さん向けのイベントをもっと開催して頂けると嬉しいです。
⇒お父さん向けイベント、できるだけ開催できるように計画していきます。
-

- ・ 可能であれば、各児童館を交代で日曜日も運営頂きたいです。
⇒市に要望を伝えます。
-

- ・ 利用される方が多くてたくさんお話ができて嬉しいです。授乳室にクッションがあったら嬉しいな—と思いました。
⇒感染症も落ち着いて来たので、適宜、クッションなど、洗濯ができるものを用意したいと思っています。
-

振り返りのまとめ（アンケートの掲示用に使用しない）

BOUKENどんどこ 親子ひろば

自分たちの活動を振り返り、記入してください。

- 例）
- ・ 今後の課題や対策
 - ・ 今後、自分たちが大切にしていきたいことや自分たちの強み
 - ・ 今後の目標などについて
 - ・ スタッフの感想や市に確認したいこと
 - ・ 親子ひろば全体で共有したいこと
 - ・ 回答に困っていること
 - など

・父が参加しやすいイベントや講座をしてほしいとの要望が多くありました。今後、父向けの講座やイベントを企画し、まだ来られていない父が来るきっかけとなるようにしていきます。

・保育をしてほしいとの意見があり、それにこたえるものとして、11月から預け合いを導入していく予定です。

保護者の意見を聞きながら、ともに協力しながら、一緒に子育てを支え合えるようにしていきます。

・BOUKENどんどこは、外遊び、室内遊びともにできる場所で、年齢幅広く遊べるよさがあります。これからも、いろいろな年齢の子どもが楽しく遊べるように、必要に応じて棲み分けしたり、異年齢のかかわりを大切にしていきます。

・スタッフの声掛けが嬉しい、居心地よく遊べるなど、嬉しい感想をたくさん書いていただき、私たちの日頃の努力が報われる気がしました。これからも、遊びに来る親子にとって、たくさん遊べて、楽しい居心地のいい場所づくりに努めていきます。

<市への要望として(以下に記載)>

・毎年、アンケートで、月曜日に休みのひろばが多く、行き場所に困っている、休みを分散させてほしいとの要望や、日曜日の遊び場の要望が出ています。

・交通機関の要望として、ぶんバス、立川バスの運行がありました。
泉町や西国分寺駅方面からは来づらいという意見が多く聞かれるため、プレイステーション前(近く)にぶんバスのルートを作っていただけたら便利になる人も多いのではないかと思います。

子どもアンケート

- ・男女比は、男子 43%、女子 57%だった。
- ・楽しかったかの項目では、97%が楽しかったという回答だった。
内容は、火の体験、滑り台、鬼ごっこ、室内遊び、おしゃべりが上位をしめた。
- ・職員に対しては、96%がよい感じとの回答だった。
- ・再度利用したいかの項目では、99%がまた来たいという回答だった。
- ・駄菓子屋の利用は、92%の子どもたちが利用し、再度利用したいという回答は、94%だった。また、駄菓子屋で行われているお仕事体験は 64%が体験していた。

大人アンケート

- ・今回のアンケートの男女比は、男性 29%、71%だった。父親の利用がとても増えたことがこのアンケートからもわかる。
- ・楽しかったかの項目では、100%が楽しかったという回答だった。
内容は、穴掘り、室内遊び、火の体験、滑り台、工作が上位をしめた。
- ・職員に対しては、100%がよい感じとの回答だった。
- ・駄菓子屋の利用は、73%が利用し、再度利用したいという回答は、94%だった。また、駄菓子屋で行われているお仕事体験についての 83%が興味があるという回答だった。
- ・土日カフェは、土曜日日曜日のみの活動だが、利用者の内訳は、夫婦が 30%、家族が 28%、友だち同士は 22%、ひとりでの利用は 20%だった。プレイステーションでのカフェが、利用者それぞれにとって有効に活用されていることがわかった。
- ・自由記述からは、職員の対応が、親切、明るい、教えてくれる、距離感がいいなど、とてもいいという記述があり、プレイステーションの職員に対しての信頼が感じられる記述が多数あった。また、子どもたちが自由にのびのび遊べる素敵な遊び場でありがたい、普段できない体験ができるなどの記述も多く見受けられ、プレイステーションの活動内容をとても好意的に捉えてくれている。また、国分寺の魅力となっているという記述も 3 件あった。

親子ひろばアンケート

- ・今回のアンケートの男女比は、男性 13%、86%だった。父親の利用が平日も含め、増えてきていることがわかる。
- ・親子ひろばの満足度を聞く項目では、96%が満足をしているという回答だった。

全体として

- ・アンケート結果に関しては、自由記述などの全ての意見に対して現場職員で話し合いを行い、いただいた意見を活動に取り入れている。また、いただいた意見と回答を来場者が見える形での掲示。ホームページでの公開を行い、多くの人に見える形を取っている。

令和5年度利用者懇談会

令和5年2月3日(土) 11:00~11:30
参加者：子ども最大15人(2歳幼児含む)

本気で願えばかなうかもしれない会議

(注：PLとは、プレイリーダーのことです)

ほしいもの

- ・マンガ「おしの子」「はたらく細胞」
⇒ 寄付を募集しましょう！だれか、本棚の部屋に貼るポスター、描いてくれない？
- ・スイッチ
⇒ NintendoSWITCH、面白いよね。でもプレイリーダーは外遊びがもっと面白いことを伝えたいと思っています。
- ・ピアノ、ドラム
⇒ すごく大事にしているので壊れやしないか心配なのですが、プレイリーダーに話してください。
- ・エレキギター
⇒ アコースティック？ギターはあるけど？え？好きじゃない？エレキはないな。
- ・フルート
⇒ フルート吹きたいの？ポスター描いてほしいな。
- ・うんてい、てつぼう、ジャングルジム
⇒ 作れるよ。鉄棒の意見多かったから、とりあえず材料集めしてみるね。
- ・星(どこにほしいかは分からない)
⇒ 星ね。色々思いつくね。一緒につくってみない？声をかけてみて。
- ・マイクラのボードゲーム
⇒ レゴはあるんだけど？そして夕暮れカフェではPSでマイクラできるよ。
- ・テレビ、ゲームやるならテレビ(モニター)ほしい、テレビでマイクラをつなげたい
⇒ 夕暮れカフェ(17時半~20時)では、ゲームもできるんだよ。中学生になったらきてね。
- ・でっかい地下室。誰かにつくってほしい
⇒ 誰か作るかなあ。昔、作った子いたよ。
- ・自由につかえるパソコン
⇒ 夕暮れカフェでプレステのiPadが使えるよ。自由に使えるパソコンがあったら、何する？
- ・人体パズル 高くて無理なら作る
⇒ 四千円くらいだった。ちょっと高いな。まずは、つくってみようか。
- ・お医者さんごっこのグッズ
⇒ グッズって、どんなの？興味あるなあ。
- ・陸上競技場、タータンの？ 走りたい。
⇒ まずプレイリーダーと一緒に整地して、白線引いて走ってみないかい？
- ・ジェットコースター、遊園地、観覧車
⇒ 面白そう。観覧車ってどうやって作るんだろうなあ。僕はすぐ作ること考えちゃうなあ。
- ・火山
⇒ 火山って作れるのかなあ。噴火装置ならいけそうだなあ。
- ・室内プール。新しく建物ごとつくる
⇒ これ、やった子いたなあ。基地エリアで。
- ・ベイブレードX
⇒ 壊れちゃったんだよね。PLはベイゴマをおすすめしたいね。
- ・ドリル(穴開ける)
⇒ 手動のドリルがあるよ。プレイリーダーに聞いてみてね。

食べるものについて。これから調理ができるようになると思うけど、何をしたいかな。

- ・ラーメン
⇒ みんなで考えてみるね。
- ・かに
⇒ PL も 5 年に一度も食べない、あの、カニですか？
- ・お菓子が無料でもらえる
⇒ 何かの景品や参加賞とかで、どうだろう。今日のように。
- ・地球グミ
- ・中で食べれるようにしたい（今は談話室とその横のみ）
⇒ 駄菓子屋で聞いてごらん？
- ・ピザ焼きたい
- ・パン焼き体験
- ・料理教室
（メニューは）何でもいい⇒フォカッチャ、ホットケーキ、お好み焼きなど？
- ・やきそば
⇒ みんなが料理して、たべれるように、現在準備中！

だがプレのことで意見があるかな。

- ・お金いらないで駄菓子を買えるシステム
⇒ だがプレで働こう！どうすれば働けるか、聞いてみて！
- ・働いて 100 プレにして。給料あげろ
⇒ どうすれば、給料があげてもらえるか、一緒に考えてみない？
- ・40 分で 40 プレにしてほしい
- ・1 円のお菓子ほしい
- ・値段を 1 / 10 にする
⇒ 交渉のしかたをくふうするんだ。
- ・土曜日にだがプレに 1 番乗りした人はお菓子をもらえる（赤字になるからダメと言う子も）
⇒ なるほど。それはがんばりがいいがあるな。PL としてはみんなを大事にしたいんだけど、どうすれば良いかな？

その他

- ・山を残したい。けずるな
⇒ のこすよー
- ・倉庫（ガレージ）の奥まで入りたい
⇒ ツアーをしよう！あんないするよ！→した。
- ・終わる時間をおそくしてほしい⇒18:00 とか
⇒ PL もずっとそれをかんがえている！どうすればゆめがかなうかな？
- ・今のままでもいい
⇒ そうか。
- ・ドームでおおって雨の日も遊びたい。テントはいや
⇒ どんなくふうがあるか、いっしょにかんがえてみない？
- ・でこぼこにしたい
⇒ しょうぜ
- ・バリアフリー。段差があるのでまっすぐにしたい
⇒ どのだんさがきになってる？
- ・全部水
⇒ 雨水ためればいけそう

利用者懇談会（大人版）

令和6年2月17日（土）15:00～16:00

参加者：大人10人

プレイリーダーへ

- ・プレイリーダーともっと話をしたい
- ・同じ気持ちをもった人と話したい（ファンクラブ的なものをつくりたい）
平日の午前中とか。次の代へもつなげられる
- ・午前中一緒にごはんとか食べられたら。
- ・子どもとの関わり方、子どもの友人への声掛けとか教えてほしい。

⇒プレイリーダーとの関わりをもちたいという方々の意見が聞かれたことから
今後は、一緒にお茶会をしてお話をする機会を用意します。

⇒お昼時には、ござ＋ブルーシートを準備し、一緒に食べられる場を作ります。

自主保育サークルより

- ・自主保育サークルのメンバーを募集したい
⇒プレイリーダーから、親子への声かけをします。
また、定期的にサークルの状況をヒアリングします。

ほしいもの

- ・小さい子用の滑り台がほしい。幅は広くない方がいい、手すり両方ほしい。
⇒ つくる方向で考えます。
- ・大人の更衣室が外にほしい
⇒ ガレージに着替えテントを補強して設置できるか考えます。
⇒ だれでもトイレにはマットがあるので、利用可能です。
- ・小さい子のおむつ替えの場所。屋外にほしい
⇒ 屋外用ベビーベッドをつくります。
- ・ハンモック、スラックライン
- ・木の実、つたとか、遊ぶ自然のものがほしい
- ・駐車場
- ・自販機、キャップがある温かい飲み物がほしい

したいこと

- ・食事をつくって食べたい
⇒ まずは、鍋、釜を揃え、準備ができたら始めます。
- ・ボードゲーム大会
- ・フリマを定期的に
- ・カプラで遊びたい
- ・野菜つくって食べたい
- ・プレステに泊まりたい（17時以降に大きい子がいるのがうらやましい）
- ・夜を楽しむ場

その他

- ・たまごが子育ての入口だった、駅前の立地としてよかった。とても感謝している。
- ・国分寺はどんな場か？子どもたちに伝えたい
- ・プレイステーションは、利用者と一緒につくる場と言ってくれるのがうれしい
- ・大人だけで来たい
⇒ ボランティア登録が可能です。
- ・近隣と子どもたちの架け橋になってほしい

事業実施状況 指定管理者 自己評価票

施設名	国分寺市プレイステーション
指定管理者名	特定非営利活動法人 冒険遊び場の会

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	収支計画に基づき執行することができた。
業務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されているか	3	指定管理に、新規事業の委託契約が加わる形での業務になり、スタッフが多く必要になったが、夕暮れカフェ事業に大学生スタッフを導入しながら業務を実施し、さまざまな業務を活動に応じて遂行することができた。
	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	コロナ感染症が5類になり、規定通りの開催予定日数、開場時間に基づき、活動を行った。また、新規事業として、中高生は平日20時までの利用とし、その時間も有効に使い、利用者にとっていい時間となった。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	新規事業が入り、夕暮れカフェには大学生スタッフを入れたり、土日カフェには、そこに興味を持っていた市民を雇用し、その活動に応じた形で業務を遂行することができた。
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されているか	3	管理運営に必要な防火管理者を置いている。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	書類は鍵つきロッカーに保管し、必要な報告は行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	4	毎日の業務の始まりに、その日に入るスタッフ全員で朝会を必ず開き、昨日からの引き継ぎ事項の確認と共に、本日の業務の確認を行っている。その後すぐに場内外の施設点検を行い、安全、清潔に保っている。特に、屋外の安全点検には、その日のブレイリーダー全員で端からくまなく見ながらチェックを行っている。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	エレベーター管理、機械警備の検査は確実にやっている。
サー ビス の 質 に 関 する 評 価	利用者の満足度はどうか	5	子どもアンケートでは、楽しかったかの項目では、97%が楽しかったという回答だった。再度利用したいかの項目では、99%がまた来たいという回答だった。職員に対しては、100%がよい感じとの回答だった。親子ひろばの満足度を問う項目では、96%が満足をしているという回答だった。駄菓子屋の利用は、92%の子どもたちが利用し、再度利用したいという回答は、94%だった。大人は73%が利用し、再度利用したいという回答は、94%だった。また、駄菓子屋で行われているお仕事体験については83%が興味があるという回答だった。大人の自由記述からは、職員の対応が、親切、明るい、教えてくれる、距離感がいいなど、とてもいいという記述が多くあり、プレイステーションの職員に対しての信頼が感じられる記述が多数あった。また、子どもたちが自由にのびのび遊べる素敵な遊び場でありがたい、普段できない体験ができるなどの記述も多く見受けられた。
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者アンケート結果に関して、全ての自由記述などの意見に対して現場職員で話し合いを行い、いただいた意見を活動に取り入れている。また、いただいた意見と回答を来場者が見える形での掲示、ホームページでの公開を行い、多くの人に見える形を取っている。また、利用者懇談会が出た意見も同じように、全ての意見に対して回答を行い、来場者が見える形での掲示、ホームページでの公開を行っている。また、いただいた意見については現場会議にて話し合いの時間をとり、活動にとりいれている。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	4	利用者に向けて、ブレイリーダーの存在がわかるように、「ビブス」を着用している。また、初めて遊びに来た利用者には、事務スタッフ、ブレイリーダーが協力しあい、プレイステーションの様子がわかるチラシと共に利用の仕方の注意点を書いたチラシを渡し、案内をしたり説明をしている。また、できる限り、ブレイリーダーにつなぐように心がけている。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	4	プレイステーションの利用者の子どもたちの送り迎えの車が、近隣の空き地や近隣の商店の前に停車を行うことにより、苦情につながった。その件についてはお詫びをし、話し合いを行い、利用者の駐車、停車を防ぐために、昨年度はコーンやバーを購入し設置を行い、効果があつたと思われるが、さらに、今年度は公開空地にわかりやすく目立つような看板の設置を行った。また、職員が気がついた時には、停車した方への注意も行ってきた。プレイステーションの移転直後から来ている青年(17歳未満)の問題行動に関しては、問題があるたびに何度も臨時職員会議を開き、対応を行ってきた。また、これらの全ての事柄に関しては、担当課にもすぐに報告を行い、対応に関しても逐一報告を行った。青年たちの家庭環境も関係するなか、担当課だけでなく、子ども家庭支援センター相談係とも情報共有を行い、対応を行った。家庭環境を含め、すぐには解決が難しいことだが、年間通して、日々、職員間で共有し、真摯に向き合ってきた1年間だった。

	個人情報が適切に取り扱われているか 3 個人情報に係わる利用者カードの管理は鍵つきロッカーに保管している。
	業務に必要な研修を実施しているか 5 今年度は、現任研修として年間6回(3月、5月、6月、7月、10月、3月)の研修を行った。また、子どもたちの問題行動に関しての研修を緊急に逐一行った。(5月、7月2回、10月)
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか 4 障がい者の利用があった際、身障者用駐車場を利用してもらった。障がい児団体の利用が増えてきたことから、多くの子どもたちを引率しての車の乗り入れ台数も増えたことから、2台の駐車場の利用を可能とするように、こちらで使用している車の移動を可能な限り行い、障がい児団体の車の乗り入れへの配慮を行った。また、新しい障がい児団体の利用が増えてきたことから、必ず利用の際には、場内の説明を行い、こちらで手助けできることなどを聞きながら遊びに配慮した。室内の親子ひろばの利用の際には、エレベーターをご案内し利用を促した。屋外には、場内に設置したバリアフリーの通路を通り、車椅子を利用して工作エリアへ行くことができた。また、駄菓子屋は階段があるため、中へ入ることはできなかったが、駄菓子屋でのお菓子などを室外から出して、デッキ横に急遽、駄菓子屋を開き対応した。屋外には、インクルーシブのためにバケツブランコを設置しているため、ブランコに乗ることが難しい親子への対応をすることができた。
	業務の改善を図ったか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)
施設水の準性の性に評価した	ブレイリーダーの育成に関する講習会等は効果的に実施されているか 4 フィールドワーク41名、シンポジウム63名と多くの参加者があり、アンケートではフィールドワークは92%がとても良い、と高評価だった。 シンポジウムでは、実際に効果的に行われている居場所の活動紹介が、ほぼ100%、まとめが92%がとても良いとの評価を得た。シンポジウムでは、地域で孤立を防ぐために「共生」の立場から活動を行っている団体からの紹介だったが、参加者の自由意見からは、今回のシンポジウム、団体への活動への評価がとても高かった。また、講習会後に活動に参加したい、ブレイリーダーになりたいなどの問い合わせ、応募がいくつかあり、ブレイリーダー育成に効果があった。
指定管理者の自己評価	
総合評価	
評価の理由等	
5	市の要求水準を大幅に上回っている ・今年度は、全体の利用者は、イベントを除き、25,574名だった。昨年度と比べ、478名の利用者が増加した。そのうち、親子ひろばの利用者は10,567名で前年度より、1,192名増加した。駄菓子屋、土日カフェの効果もあり、土曜日の利用者がとても多く、利用者増加に伴い、安全確保のためにブレイリーダーを加配しての活動を行った。また、その人数に加え、夕暮れカフェでの中高生は、1,343名の利用があった。夕暮れカフェ開設前は中高生の利用がとても少なかったため、格段に増加し、中高生の居場所として機能し始めている。1年を通じて行った「駄菓子屋」「土日カフェ」「夕暮れカフェ」の活動がプレイステーションの利用者増に加え、小学生、中高生、親子たちそれぞれにとっての、いい居場所となったことが実感できた1年だった。 ・利用者アンケート(1ヶ月間実施)からは、プレイステーションの満足度は、大人100%、子ども97%、親子ひろばは、96%であった。自由記述欄からは、プレイステーションや親子ひろばの存在価値や良さが多く述べられていた。 ・アンケート結果からは利用者の満足度が高かったが、学校に行っていない子や、家庭などに様々な事情を抱えた子どもたちが多く遊びに来ていることから、0歳から18歳未満までの子どもたちが来る遊び場としては、全ての利用者に満足いく形での運営の難しさも抱えているのも事実である。今年度は、さらに、子ども同士のトラブルもあり、年間通じて、職員間の話し合いを多く持ちながら、担当課とも話し合いを重ねてきた。多くの事情を抱えた子どもたちが来ることができる居場所としてのプレイステーション、そして、全ての子どもたちにとっても、よりよいプレイステーションのあり方を考えながら活動をおこなった1年だった。 代表理事 武藤 陽子

- 5
- 市の要求水準を大幅に上回っている
- 4
- 市の要求水準を上回っている
- 3
- 要求水準を満たしている
- 2
- 改善を要する
- 1
- 抜本的見直しを要する

指定管理業務名又は施設名

国分寺市プレイステーション

年	月	件数（A＋B）	苦情者内訳		対応後完了 件数	その他 件数
令和5年	4月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	5月	1	A	0	0	0
			B	1	1	0
	6月	2	A	0	0	0
			B	2	2	0
	7月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	8月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	9月	1	A	0	0	0
			B	1	1	0
	10月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	11月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
12月	0	A	0	0	0	
		B	0	0	0	
令和6年	1月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	2月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	3月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
合 計		4	A	0	0	0
			B	4	4	0

A … 利用者又は家族からの苦情件数

B … A以外からの苦情件数

対応後完了件数 … 苦情受付後、対応により完了した件数

その他件数 … 苦情を聞き置く等、上記以外の件数

※ 上記に記載されたものは、1件毎に別紙により 受付日・内容・対応等を記載し、添付してください。

苦情内容および対応詳細

施設名			国分寺市プレイステーション	
No.	月	A・B	苦情内容	対応詳細
1	5	B	おまつりをやっているのですか。ギター之音がうるさいです。音量下げてください。夜勤あけなので。	申し訳ありません、おまつりではないですが小さな音楽イベントですと説明し、ただちに現場に伝えて対応すると話した。音楽会は始まったところだったが、進行役に電話の内容を説明し音量を下げて演奏してもらった。2度目の電話はなかった。
2	6	B	うちの前にまた車を停めて子どもを乗せている	謝罪をし、事務職員がすぐに現場プレイリーダーに伝え、情報共有を行った。また、お電話をいただいたお宅にお詫びに行った。その後、プレイステーション公開空地の場所に、近隣への駐車、停車をやめていただくよう、大きな看板を設置した。
3	6	B	プレイステーションを利用している児童が、プレイステーション周辺で問題行動を取っているのを、複数回にわたり目撃した。そちらでどうこうできる問題ではないかもしれないが対応してもらえると嬉しい。	謝罪をし、スタッフ会議にて情報を共有。また、対象と思われる児童と話し合いをした。
4	9	B	以前にも連絡した児童について、問題行動に改善がみられていない。注意をしても態度を改めないのは、対応が甘いからではないか。今後については所持品チェックをしてほしい。また、外の見回りを強化してほしい。との要望を受けた。	対応をしているものの、改善に向かっていないことについて謝罪した。その後、再度、児童と話し合いをした。その結果、プレイステーション周辺では指摘のあった問題行動は見られなくなった。

A … 利用者又は家族からの苦情件数

B … A以外からの苦情件数

(6) その他管理等に係る必要な計画の実施状況

1, 遊び場の環境整備

(1) 身体を使って遊べる工夫

- ・二階建ての大型遊具滑り台の点検、改修、補強を行った。自分の力で工夫して登る構造のハザードをチェックし、子どもの危機管理能力の発達に寄与した。
- ・遊具に大型のバケツをロープで吊るした。これによってブランコを自力で漕げない子どもや、安全確保が難しい子どもが、補助を得て楽しんだ。
- ・竹、雨樋を自由に組み合わせることができる立体のボール転がし／水遊び装置を使用した。初めて来場し、何をすれば良いかわからず戸惑いを見せる子どもも、これにより創造的な遊びや、泥や水にまみれてのびのび遊ぶ機会が増えた。
- ・子どもの要望により、子どもと一緒に卓球台と卓球ラケットを作り、屋内で使用している。
- ・子どもの要望により、子どもと一緒にサンドバックを作った。

(2) 体験活動ができる場の設営

- ・火傷や近隣住宅に配慮するため、自分達で作成した安全管理マニュアルに沿った火起こし体験活動を実施している。
- ・泥遊びは、幼少期から可塑性の高い泥で遊ぶことで子どもの創造性を高め、免疫力を強靱にする。泥遊びの楽しさに親、子どもが自ら気づき、伸び伸び遊びを展開できるよう、プレイリーダーは場内に泥の山、池や水路、浮島などを作成し、積極的に子どもと泥遊びに興じた。
- ・こどもまつり、プレステマルシェを開催した際は、ベビーカーや車椅子、自転車が入りやすいように、全プレイリーダーとボランティアで整地を行った。
- ・カリンの木、桑の木の剪定、畑の耕しなどを子どもと共に行った。
- ・ザリガニ、メダカのための水槽を設置、装飾し、子どもと共に観察しながら餌やり、掃除などを行っている。
- ・工作台、工作道具、材料を常時配置し、プレイリーダーの指導のもと創意工夫を凝らした木工体験を行っている。
- ・基地エリアは各区画1ヶ月の契約（更新可）とし、次回の来場が見込めない子どもも楽しめるよう、その日だけ自由に施工できる”1日基地エリア”を設置し、利用された。
- ・周辺地域の建築現場を周り、大工と連絡先を交換し、端材などをいただいて回った。
- ・こどもまつりの開催

子どもの自分のお店を開きたいという気持ちに応えるためのおまつりを開催した。子ども主体のまつり。店を開くために決まり事を決め、企画書を提出してもらい、プレイリーダーと一緒に考えることで子どもたちの気持ちをサポートし実現した。

日程：令和5年11月19日（日）11：30～14：30

参加人数：0～17歳の子ども 305名 保護者、地域の方 225名

出店内容：射的、くじや、木刀販売、子どもたちの手作り小物販売等

(3) 子どもの居場所として機能させる

- ・高学年以上～17 歳の子どもの発散するために、ミットシールドとグローブを購入した。さらに、それぞれの使用方法について格闘技の指導経験者を招いてスタッフ研修を行い、安全管理のためのルールを作成し履行した。スタッフはこれを使用することで、情動発散が必要で暴力的になりがちな子どもを、本人の大きな怪我や、他社への被害なく落ち着かせることができた。
- ・駄菓子屋では子どもが仕事体験によってオリジナルの通貨を稼げるようにし、遊びの入口になると共に、経済観念の学び、働くことや挨拶することの意義付けに寄与した。子どもの店員は、親子ひろば“BOUKEN どんどこ”に出前販売に赴き、そこで読み聞かせするなどして、幼児親子と交流する機会を持った。
- ・土日限定でカフェ（カフェドーにっち）を設営し、親子の憩いの場、子育て中の保護者が一息つける場として機能させつつ、子どもも仕事体験として、カフェの業務を自主的に担い、学んでいる。
- ・中高生の年齢対象の夕暮れカフェ（夜 8 時まで）を行い、子どもたちはプレイリーダーと共に夕飯を作って食べたり、ボードゲームなどで交流を楽しんだ。これにより、家や学校に居場所がないと感じる子どもたちにとってもかけがえのない居場所として機能した

(4) 日常の遊びの支援・活動

【年間を通した遊び・活動】

○身体を使った遊び

泥遊び、スケートボード、チャンバラ、ウォータースライダー、水遊び、滑り台、バケツブランコ、竹馬、シーソー、電車ごっこ、おにごっこ、かくれんぼ、だるまさんがころんだ、三輪車など

○ものづくり

＊木の遊び道具（剣、ブーメラン、手裏剣、車など）、基地作り、遊具、家具、台車などの乗り物、アクセサリー小物、木箱、フォトフレーム、パズルなど。

＊竹を使って

弓矢、コップ、笛、刀、ハシ、ランタン、竹トンボ、水路など。

＊革・糸・毛糸・など手芸

革細工（ストラップ・ペンダント・財布など）、羊毛工芸（虫・ボール）、ビーズ工芸、編み物、ガーランド、ミサンガ、木の実などを使ったクラフト など

＊金属

ハンダ、アルミホイル工作 など

＊粘土

粘土で工作（人形・動物・器など）、陶芸 など

＊その他

シャボン玉、スライム、オーナメント など

○火を使った体験活動

焼きビー玉、炭作り、ろうそく実験、釘ナイフなど

○生活に即した遊び

仕事体験、畑作り、花植え、基地づくり、川づくり、虫取り、昆虫・魚・ザリガニなどの飼育、季節の遊び（クリスマスツリー作り、豆まき、七夕かざり）など

○土と水、風など自然遊び

水路作り、ピタゴラスイッチ、穴掘り、どろだんご、池作り、風車、ミストシャワー、足湯、水風船、紙飛行機など

○ゲーム等

エアホッケー、ボール転がし、クギさし、コマ、ベーゴマ、昔遊び、けん玉など

○室内の遊び

プラレール、マンカラ、ボードゲーム、ドミノ、将棋、オセロ、卓球、ミニ四駆、読書、あやとり、レゴブロック 楽器演奏、など

2. 親子ひろば事業の実施

(1) 乳幼児とその保護者、妊婦の交流の場の登録届の受理等

- ・乳幼児とその保護者、妊婦の利用にあたり、登録届の受理、登録名簿を作成し管理を行った。また、実施日における利用者の氏名、人数等の管理を行った。

(2) 乳幼児とその保護者、妊婦の交流の場の提供と交流の促進

○年齢や興味に応じた場づくり

- ・年齢に応じて遊べるよう、ハイハイ前の赤ちゃんのコーナーを設け、棲み分けをした。ハイハイの赤ちゃんがたくさんハイハイできるように、また、ヨチヨチ歩きの子がたくさん歩けるように、ひろばと廊下を周遊できるようにした。
- ・馴染みのあるおもちゃや絵本や遊具を用意した。
- ・来場者の年齢に合わせて、マナーにならないように 定期的におもちゃの入れ替えを行った。絵本は日ごとにローテーションにして入れ替えた。
- ・用意した遊具（滑り台、大型積木（牛乳パック積木）、大型ブロック、ボールポスト、段ボール電車、人形、ままごと、音が鳴るおもちゃ、ミニカー、レゴブロック、ブリオ、牛乳パックの電車、絵本、ガラガラ、ベビージム、ロディなど）

○親子遊びのための手作り遊具の工夫

- ・牛乳パックで作った積み木や椅子、段ボールで作った電車やボールポスト、家、トンネル、貼って遊べる果物の木など、身近な材料で簡単に作れるものを準備した。季節に応じて、簡単なおもちゃづくりができるように準備した。ペットボトルのマラカスづくりができるように材料を用意し、希望者にはすいている時に自分で作れるように準備した。牛乳パックの椅子を作りたいという利用者には、スタッフから集めた牛乳パックを分けて、家で作れるようにした。

○親子の楽しい遊び場の創出

- ・その場の雰囲気に応じ、年齢や季節に合わせた手遊びや絵本の読み聞かせを行った。
- ・季節に合った壁面装飾にして、ひろばが楽しい雰囲気になるようにした。誕生月には写真が撮れるように、ケーキの装飾やたんじょうびおめでとうのパネルを準備した。誕生月には写真を楽しみに撮りに来る親子も多かった。

○利用者の参加・利用者同士の異世代交流

- ・手遊びで利用者が参加したりアイデアを出してもらった。
- ・小学生が時々遊びに来て、赤ちゃんを段ボール電車に入れて引っ張ってくれたり、手遊びや絵本の読み聞かせをして交流の時間をつくった。駄菓子屋の仕事の一環で親子ひろばにも宣伝に来て、親子におすすめのものを教えてくれたり、絵本の読み聞かせをするなど親子と小学生がかかわる機会となった。
- ・助産師の日に時々、座談会を開催し、テーマを設けて話すことで、利用者同士の会話のきっかけとした。

- ・利用者にも情報を聞きながら、お出かけスポットや桜スポット、水遊び場などを書いて壁に貼り、会話のきっかけにしていた。

○交流のイベント

「ようこそ赤ちゃんタイム」（0歳児優先タイム）（毎週火曜日午後）

対象 0歳児（2ヶ月～11ヶ月）

内容 ふれあい遊び、絵本の読み聞かせ、自己紹介、テーマを決めて情報交換、フリートーク等

開催回数：47回 参加者数：410組

「外遊びをはじめよう」

- ・令和5年度は、6月から回数を月1回から月2回に増やした。
- ・毎月第2金曜日は、プレススタッフとBOUKENたまごスタッフとコラボで行った。親子ひろばスタッフが丁寧にかかわり一緒に遊ぶことで、安心して外遊びを楽しめた親子も多かった。一体感がもてるように、手遊びや大型絵本などの読み聞かせも行った。
- ・毎月第4火曜日は、テーマを設けて外遊びを行った。（10月は自主保育グループとコラボで開催）。テーマを決めることで、初めての親子や久しぶりの親子も多く、楽しみに参加していた。
- ・テーマを決めて行った。
6月色水遊び、9月虫取り、10月ハロウィン、11月まっぼっくりを使って1月節分、豆まき、2月風船遊び

開催回数：14回 参加者数：164組

「誕生会」

- ・毎月4金曜日の11:30～11:45と15:40～15:55に誕生会のイベントを実施。
- ・誕生月以外の親子にも一緒に歌を歌ったり、ふれあい遊びをしたり、絵本を見たりして、一緒にお祝いしてもらった。
- ・近い誕生日の子に出会えて親子が嬉しそうに会話したり、誕生日祝いのお話など会話、交流が見られた。

開催回数：12回 参加者数75組（誕生月の親子の人数）

（3）子育て等に関する相談、援助の実施

- ・ひろばの中で日常的にスタッフが相談を受けた。そこから助産師、カウンセラーなどの専門相談へつなぐこともあった。
- ・助産師の日（毎週水曜日午前）、カウンセラーの日（毎週木曜日）を開催。ひろばの中で子どもを遊ばせながら相談を受けた。カウンセラー相談に関しては、相談者の希望に応じて、個室相談も行った。

令和5年度の相談件数

相談種別番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計
相談項目	授乳・卒乳	子どもの食事	子どもの発達	生活リズム 生活習慣	子どもの健康	子どもの行動	親自身の悩み	他親とのトラブル	幼稚園・保育園	サービス・問合せ	その他	
ひろばスタッフ	6	13	28	15	11	24	40	0	13	19	1	170
カウンセラー	4	10	19	9	5	22	40	0	9	20	0	138
助産師	52	35	24	21	25	3	37	0	0	0	0	197
合計	62	58	71	45	41	49	117	0	22	39	1	505

(4) 地域の子育て関連情報の提供

- ・市内で行われている親子ひろば、市内で活動している自主保育グループ、子育て関連の情報などの掲示を常時行った。また、子育て関連の情報チラシなどはすぐに手に取ることができるようにポケットをつくり親子に提供できるようにした。
- ・国分寺子ども・子育て支援円卓会議に出て得た地域の子育て情報は、毎月分かりやすく掲示板でお知らせした。
- ・地域の遊び場や子育て相談の情報など、見やすく掲示し、分類別にチラシを置いた。
- ・利用者にも情報を聞きながら、近隣のお出かけスポットや桜スポットなどを書いて掲示を行った。

(5) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

- ・毎月、子育て関連の講座やイベントを行った。

実施日	講座・イベント名	参加人数
4月28日	「わが子へ伝えるおうち性教育」講座	0～1歳児親子6組
5月25日	「親子で小児理学療法士とあそぼう」講座	0歳児親子9組
6月9日	「抱っこひも」講座	0歳児親子8組
6月30日	「おはなしの国ピッピさんによるおはなし会」	0～3歳児親子11組
7月15日	「パパにも知ってほしい性教育」講座	0～7歳児の父親5名
9月14日	「気になる子どもの教育費の話」講座	0～2歳児親子8組
10月6日	「仲間づくりとあずこっこ入門①」講座	0～1歳児親子9組
10月13日	「仲間づくりとあずこっこ入門②」講座	0～1歳児親子9組
10月20日	「仲間づくりとあずこっこ入門③」講座	0～1歳児親子8組
11月4日	「親子で一緒に遊ぼう」父向け講座	1～3歳児親子7組
12月12日	「卒乳のはなし」講座	0～1歳児親子8組
12月16日	「PAPA'S TALK TIME」	0～1歳児父親と子 10組
1月18日	「いろいろな国のことばで絵本を楽しもう！」 (こっこっこ月間イベント・ゆいぽっこと国際協会・プレイステーション親子ひろば共催)	0～3歳児親子15組

1月20日	「PAPA'S TALK TIME」	0歳児父親と子3組
1月31日	「絵本の読み聞かせのコツと絵本の紹介」講座	0～11歳児親子10組
2月10日	「PAPA'S TALK TIME」	0～4歳児父親と子 3組
2月20日	「わらべうたマッサージとハンドマッサージ」 講座	0歳児親子12組
3月6日	「お湯ポチャレシビ体験」 (助産師会とプレイステーション親子ひろば共 催)	1歳児親子5組
3月9日	「PAPA'S TALK TIME」	0～5歳児親子4組
3月12日	「わが子へ伝えるおうち性教育」講座	0～1歳児親子8組

(6) 地域支援に関する取組の実施

ア) 高齢者・地域学生等地域の多様な世代との連携を継続的に実施する取組

○プレイステーション、親子ひろば両現場にて、地域の学生の受け入れを行った。

ボランティア体験（地域学生）

- ・東京経済大学学生 地域貢献：81名
実施日数：46日（期間：5月18日～12月19日）
- ・日本大学学生 1名 日数：31日（期間：8月3日～3月7日）
- ・日本女子大学 1名 日数：1日（7月5日）
- ・武蔵野美術大学 1名 日数：2日（①10月31日、②11月4日）

実習

- ・東京慈恵会医科大学：10名 日数：10日
（期間：①5月23日～27日 ②5月30日～6月3日）
- ・明星高校：2名 日数：1日（6月21日）

職場体験

- ・国分寺市立第一中学校 3名 日数：3日（期間：10月11日～13日）

イ) 地域の団体と協働して伝統文化や習慣、行事を実施し、親子の育ちを継続的に支援する取組

- ・地域で活動して読み聞かせをおこなっている「おはなしのくにピッピ」に来てもらい、読み聞かせをしてもらった。（6月30日：親子11組の参加）
- ・近隣で活動している「HART 関東」に来てもらい、講座を行った。（2月20日 親子12組の参加）
- ・近隣に在住し活動している方々に来てもらい、「リコーダーの音楽タイム」を実施。参加者も家にある楽器を持参し、楽しい時間を過ごした（5月28日 親子20組の参加）
- ・近隣に在住し活動している方々に来てもらい、「ピアノとバイオリンの演奏会」を実施し、親子での楽しい時間を過ごした。（7月23日 親子23組の参加）
- ・近隣に在住し活動している方々に来てもらい、「お琴演奏会」を実施。お琴にも触れさせてもらった。（2月25日 親子15組の参加）

ウ) 地域ボランティアの育成、町内会、子育てサークルとの協働による地域団体活性化等の地域の子育て資源の発掘、育成を継続的に行う取組

○地域ボランティアの育成

- ・ 学生以外の地域在住のボランティアの受け入れを行った。

日数 146 日 延べ人数 224 名

○町内会

- ・ 地域の町内会「戸倉自治会」に入会し、会合への参加を行い、情報共有を行った。
令和6年1月20日 戸倉自治会防災会 参加者：2名
2月10日 戸倉自治会会合 参加者：2名
また、戸倉自治会内にて、「プレステマルシェ」のチラシを配布していただき、当日多くの地域の方の参加があった。

○子育てサークル

- ・ 日常的に、地域での子育ての推進を目的に、3組の子育てサークルを年間を通して受け入れ、孤立しがちな子育ての中における仲間づくりのための声掛けなども行い、子育ての支援を行った。
- ・ 子育てサークルに対して、活動がスムーズにできるよう、活動備品などの置き場所を確保し、活動を支えた。

子育てサークル「ぐるんぱ」	35回の活動の実施
子育てサークル「ハンティントン」	24回の活動の実施
子育てサークル「ピカソ」	12回の活動の実施

- ・ 子育てサークルと一緒に、小イベントを企画し共同開催した。

ハロウィンイベント：10月3日（火）	子ども 39名、大人 37名
10月12日（木）	子ども 30名 大人 27名
クリスマスイベント：12月19日（火）	子ども 31名 大人 32名
12月21日（木）	子ども 54名 大人 42名
節分イベント：1月30日（火）	子ども 41名 大人 46名

○利用者同士の預け合い（あずこっこクラブ）の実施（自主事業）

利用者同士の交流、子育てを助け合うことを目的に、利用者同士の預け合いをスタッフがサポートする仕組みを作り、実施した。預けるのが初めての親子も短時間なので無理なく行えた。子どもを預け合うことで、より知り合えて仲良くなっていた。親自身も子どもと離れて自分の時間をもて、リフレッシュできていた。

12月から希望者を対象に実施。

実施回数 7回（12月8日、22日、1月12日、19日、2月9日、3月15日、22日）
あずこっこクラブ登録人数 6組

●子育て応援パートナーとの連携

- ・ 日常の親子ひろばの中で、巡回している子育て応援パートナーの受け入れを行った。
- ・ 日常の親子ひろばの中で利用者からの相談を受けることも多く、さらに多方面からの支援が必要と思われる利用者については、子育て応援パートナーに繋ぎ、連携を図った。
- ・ 中央地区の地区連絡会に参加し、地域の子育てのネットワークづくりに関わった。

●「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」の遵守

- ・ 日常の中で、虐待の未然防止及び早期発見に向け、関係機関と協力を行った。（子ども子育て支援課、子育て相談室（子ども家庭支援センター相談担当）等）
- ・ 日常の中で子どもたちの行動を理解、対応するために、事例検討を行い、今後の対応を確認、共有した。

研修実施日：5月1日 参加人数 26名

- ・ 日常の中で子どもたちの行動を理解、対応するために、ロールプレイングを行い、今後の対応を確認、共有した。また、全職員において、「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」の確認をおこなった。

研修実施日：7月3日 参加人数 26名

- ・ 日常の中で子どもたちの行き過ぎた行動を理解、対応するために、いじめ、虐待、暴力の観点から研修をおこなった。その後、全ての職員への共有を行った。

研修実施日：7月9日 参加人数 20名

- ・ 国分寺市利用者支援事業研修『「虐待が子どもに与える影響」～子どもが健全に育つための支援とは～』に参加を行った。

研修実施日：9月11日 参加人数 22名

- ・ 多様な子どもたちの利用がある中、子どもたちの衝動に流されすぎず、共感的な関係を築いていくために、リフレクション（振り返り）の研修を行った。

研修実施日：10月2日 参加人数 25名

- ・ 子育て相談室主催の「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」研修に参加し、その後、全職員への共有を図った。

研修実施日：11月18日 研修参加人数：4名

●事業の質の維持、向上のための取組

- ・ 必要な研修についての情報を職員に積極的に示し参加を促した。
- ・ 職員間の日々の日誌を全ての職員と共有し、支援の維持、向上を図った。
- ・ 市から要請のあった東京都青少年対策連絡協議会の職員研修を受け入れた（令和6年1月25日 行政職員7名の参加）
- ・ 子ども若者計画課が行う「子どもの居場所づくりに関してのヒヤリング」（8月23日実施）に応じ、中高生の居場所として機能している夕暮れカフェ参加者へのヒヤリングに応じた（中高生 9名の参加）
- ・ 国分寺市が行っている「地域福祉推進協議会」「子どもの居場所づくり関係者懇談会」への出席を行った。

3, 青少年育成のための地域活動団体への支援

- 地域活動団体等への支援として、活動団体の受入れ、支援を行った。

地域で活動しているボーイスカウト	12月24日(日) 子ども6名 大人3名
放課後デイサービス 光	10月7日(土) こども11名 大人4名
放課後デイサービス すてっぷ	4月18日(火)
放課後デイサービス ツリーハウス	4月13日(木) 子ども4名 大人4名 4月18日(火)
放課後デイサービス スマイルジュニア	6月24日(土) 子ども5名 大人6名 10月21日(土) 子ども4名 大人4名
放課後デイサービス こぼんはうすさくら	11月24日(金) 12月7日(木) 子ども6名 大人6名 12月8日(金) 12月10日(日) 子ども15名 大人7名 12月13日(水) 子ども5名 大人3名 3月2日(土) 子ども10名 大人3名 3月9日(土) 子ども15名 大人9名
放課後デイサービス 第2ルーチェ	12月12日(火) 子ども3名 大人4名 1月16日(火) 子ども2名 大人3名 1月30日(火) 2月20日(火)
放課後デイサービス ルーチェ光教室	1月9日(火) 子ども4名 大人4名 2月13日(火) 子ども7名 大人5名
ゆうやけこどもクラブ	12月26日(火) 子ども6名 大人4名 12月27日(水) 子ども4名 大人4名
国分寺子どもクラブ	5月24日(水) 子ども5名 大人5名
ころろ探検隊	7月11日(火) 子ども18名 大人2名
サレジオ学園	4月15日(土) 子ども6名 大人3名
放課後デイサービス メリーランド	8月19日(土) 子ども5名 大人3名
武蔵野台児童館	9月16日(土) 子ども10名 大人4名
学童保育所 じゃんぷ	12月16日(土) 子ども5名 大人3名
くにたち発達支援センター	1月24日(水) 子ども12名 大人7名 1月31日(水) 子ども10名 大人7名 2月29日(木) 子ども7名 大人4名
新町学童保育所	3月28日(木) 子ども36人 大人2名
神明幼稚園	3月15日(金) 子ども66名 大人9名

●地域支援

- ・毎朝のゴミ拾い（西武線沿いの道路のゴミ拾い）を行った。
- ・地域の方（高齢者含む）をボランティアとして受け入れ、相互理解を深めた。
日数 146日 延べ人数 224名
- ・地域で活動して読み聞かせをおこなっている「おはなしのくにピッピ」に来てもらい、読み聞かせをしてもらった。（6月30日：親子11組の参加）
- ・土日限定カフェ（どーにっち）を開催。近隣の方の利用があり、交流の場となった。
開場日：土日毎回 年間 71回 利用者 1,435名

4, 安全管理

- ・朝と午後の1日2回のミーティングで、安全点検の確認と申し送りを行った。
 - ① 場内の遊具設備の点検補修
 - ② 地面に落ちているクギなどの危険物の除去
 - ③ 端材や資材置き場の点検
 - ④ 折れやすい木などのチェック
- ・ヒヤリハットの記録を日常的に行い、その都度、スタッフ全員で共有する。また、毎月の会議で確認を行い対策をとった。
- ・安全管理マニュアル作成
プレイステーション、親子ひろば「BOUKEN どんどこ」共に、安全管理マニュアルを更新した。土日カフェ、夕暮れカフェ、駄菓子屋の3つの新事業についても、安全管理マニュアルを新規に作成した。
- ・危機管理マニュアルを作成し、避難訓練を行い、更新をした。
- ・親子ひろばについては一日2回の消毒、清掃時におもちゃの破損の点検を行った。
- ・ケガや事故については随時担当課に報告し、適切に対応した。

5, 利用者懇談会の開催

- ・利用者懇談会を子ども、大人、それぞれを対象に開催した。

○子ども会議 令和6年2月3日（土）11:00～11:30
参加者：子ども15名

○大人会議 令和6年2月17日（土）15:00～16:00
参加者：大人10名

6, 情報発信

- ・施設正門、玄関口には、スタッフが制作した大型の手作り看板や場内図、説明看板を設置した。
- ・玄関に、活動内容や施設の概要について書いたチラシを置いて誰でも持ち帰ることができるようにした。
- ・「国分寺子ども・子育て支援円卓会議」に出席し、得た地域の子育て情報は、毎月わかりやすく掲示板でお知らせした。
- ・親子ひろば内でも、地域の遊び場や子育て相談の情報など、見やすく掲示し、分類別にチラシを置いた。
- ・全小学校中学校にチラシの配布を行った。
- ・ツイッター、インスタグラムのアカウントを取得し広報した。

【その他の活動】

○こどもまつりを開催した。

子どもの自分のお店を開きたいという気持ちに応えるためのおまつりを開催した。子ども主体のまつり。店を開くために決まり事を決め、企画書を提出してもらい、プレイリーダーと一緒に考えることで子どもたちの気持ちをサポートし実現した。

日程：令和5年11月19日（日）11：30～14：30

参加人数：0～17歳の子ども 305名 保護者、地域の方 225名

出店内容：射的、くじや、コリントゲーム、子どもたちの手作り小物販売等

○プレステマルシェを開催した。

プレイステーションの存在を地域の人たちに知ってもらうために、来てもらうきっかけとなるようなイベントの開催を行った。また、利用者にも主体的に関わってもらえるような場も設け、一緒におまつりを盛り上げた。

日程：令和6年3月3日（日）11：30～14：30

参加人数：0～17歳の子ども 254名 大人 268名 ボランティア 8名

出店内容：利用者の店（手作り品販売）、バザー、棒パン体験、昔遊びコーナー、野菜販売、やきそば、すいとん販売等

○冒険遊び場における新たな仕事体験・居場所づくり推進事業 （別紙 8）

- ・駄菓子屋（仕事体験）
- ・夕暮れカフェ（中高生、学校に行っていない子どものための革細工ワークショップ、火起こしなどの体験活動、カフェ）
- ・土日カフェ（土日の営業）

令和5年度 事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

特定非営利活動法人 冒険遊び場の会

1, 事業目的

- ・「駄菓子屋」を開設し、交流の居場所をつくる。
- ・夕方から夜間に中学生、高校生のための「夕暮れカフェ」を開設し、孤立している子どもたちも利用しやすい「安心と交流の居場所」をつくる。
- ・土曜日曜の昼間に「土日カフェ」を開設し、子育て中の親子の休息と交流を促す。
- ・3つの活動は「子どもの仕事体験」や「中学生・高校生の居場所、社会参加」の場所としても機能させる。

2, 事業概要

① 駄菓子屋

駄菓子・飲み物販売

子どもサポーター会議開催、子どもサポーターによる祭りの企画実施

子ども店員による仕事体験

② 夕暮カフェ

中学生・高校生が楽しめる居場所（ゲーム、音楽、動画を見る、学習、ものづくりなど）

飲み物、軽食の無料提供、七輪やオーブン等で調理体験など

③ 土日カフェ

コーヒー、スパイスティー、焼き菓子等販売

子育て中の保護者や子どもたちなど多世代が交流できる場づくり

地域交流を目的にした音楽イベントの開催

小・中学生の仕事体験

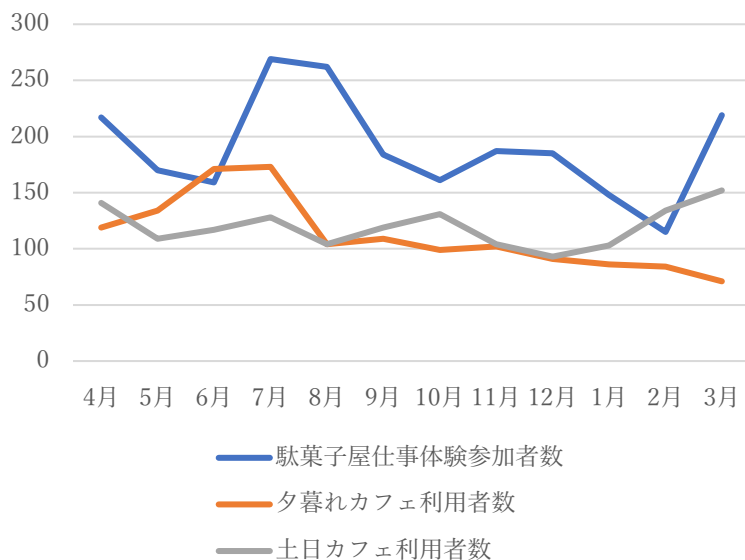
3, 利用者数・参加者数から見る実績（人）

- ・以下の表とグラフからわかるように、のべ5000人以上が本事業を利用し、冒険遊び場の利用者の増加につながった。
- ・年間を通じてどの活動も寒い時期は利用者数が減る傾向がある。
- ・夕暮れカフェでは利用者数が増加し、中学生の利用が増えている。高校生の利用が減少している。
- ・土日カフェは途中から開催時間を縮小し、昨年度より利用者数が減少したが、3月に開催場所を戸外のデッキ付近に変更したことでかえって利用者が増えている。
- ・いずれも利用者の間に本事業が浸透していることがうかがえる。

冒険遊び場における新たな仕事体験・居場所づくり事業活動のまとめ
(令和5年4月~令和6年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
駄菓子屋開催日数	21	21	24	23	24	23	23	22	21	21	23	23	269
仕事体験参加者数	217	170	159	269	262	184	161	187	185	148	115	219	2276
だがプレ子ども会議 まつり等企画参加者数	7				15								22
夕暮れカフェ開催日数	16	15	17	16	18	17	17	16	15	15	16	16	194
利用者数	119	134	171	173	104	109	99	102	91	86	84	71	1343
中学生	90	106	136	135	56	61	83	97	79	80	80	64	1067
高校生	29	28	35	38	48	48	16	5	12	6	4	7	276
土日カフェ開催日数	5	5	6	7	6	6	6	6	6	6	5	7	71
利用者数	141	109	117	128	104	119	131	104	93	103	134	152	1435
大人	123	104	110	125	91	103	121	97	85	93	121	119	1292
小中学生	18	5	7	3	13	16	10	7	8	10	13	33	143
イベント参加者		46		60							25		131
仕事体験参加者数	11	2	6	4	11	13	2	7	2	8	1		67

令和5年度年間利用者数の変化



4, 活動の内容

① 駄菓子屋

【仕事体験】

紙袋づくり、値段書き、駄菓子の補充、チラシ配り、階段掃除、外店舗のペンキ塗り、駄菓子のメッセージ書き、在庫を数える、接客、どこどこへ出張販売、どこどこで掃除の手伝い、紙袋にスタンプ押し、ゴミ拾い、コリント見守り、陳列整理、だがプレニュースづくり、ポスター描きなど

- ・仕事体験にすっかり慣れて、常連の子どもたちからは店員として様々な提案があり、セット販売や七輪で焼いて食べるとおいしい駄菓子を選んで売ったり、販売を盛り上げるための音楽など、楽しい駄菓子屋が見られた。
- ・仕事体験として親子ひろばに出張販売するのがとても楽しかったらしく、多くの子どもが希望し、親子とふれあったり、乳幼児と遊んだり、読み聞かせをすることに喜びを見出していた。また保護者たちも小学生の店員が来て関わりが持てたことにとても良い印象をもっていて、楽しんでいた。
- ・子どもの個性や能力に合わせて、仕事の内容をスタッフが吟味し、ある時はフォローしたり、簡単な仕事を紹介したり、また新たに仕事を作ったりしたことで、1年生から中学生までが仕事を体験することができた。
- ・今年度は、以前の駄菓子屋子ども会議で「駄菓子屋の壁が殺風景なので絵を描きたい」という要望を実現すべく、「駄菓子屋壁面子ども会議」を開き、何をどう描いたらいいかを話し合い、みんなで板に絵を描いた。後日それを壁面に取り付けて完成した。また子どもたちの希望でだがプレまつりを開催し、それぞれが独自のお店を出して楽しんだ。
- ・中学生や高校生もすいているときに駄菓子屋を訪れ、話をしたり休んだり、時には寝たりしていて、プレイステーション内のプライベートな居場所として利用していた。

〈まとめ〉

- ・3年目を迎えて、始めた当初のように大人数が押し掛けるということは少なくなったが、その分、多様な子どもたちが仕事を体験できるよう、スタッフが見守りをしたり、仕事内容を工夫するなど余裕ができてきた。
- ・また、駄菓子屋の活動と冒険遊び場の活動が自然とコラボレーションすることが増え、プレイステーションでの遊び（おやつ作り、火起こし体験、工作など）と関連させて、焼いて食べる駄菓子の販売や、工作で作った手作り品を駄菓子屋で販売する、駄菓子屋の側でコマ回し遊びを披露して駄菓子屋のコマの販売促進など、子どもたち自身が駄菓子屋の運営について工夫したり考えたりするようになった。

② 夕暮れカフェ

【子どもたちの活動内容】

楽器演奏、ゲーム、おやつづくり、食事づくり、まんが、睡眠、おしゃべり、パンチングミット、自習、動画視聴、レスリングごっこ、ボードゲーム、カードゲーム、火起こし体験、革小物づくり、卓球、キャッチボール、トランポリン、ベーゴマ、格闘技、サンドバッグ、デジタルお絵描きなど

- ・前半はかなり難しい家庭状況や発達課題を抱えた子どもが来ていて、他の子どもとの関係をうまく築けない場面が多く、一発触発の場面があったり、実際に手を出してしまう子どももいて、スタッフも対応に苦慮した。暴力についてスタッフ間で話し合い、きまりを作って子どもたち一人一人に話をしたこともあった。前半はそうように活動そのものが安定しない場面も多かったが、後半は何とか落ち着きを取り戻した。
- ・子どもたちも入れ替わりのように、別の課題を抱えた子どもが来場するようになり、配慮が必要な子どもたちが来やすい場になっていると思われた。
- ・参加人数も大幅に増えて、多様な子どもたちがそれぞれ好きなことをして過ごしていた。その中でも食事作りはキーワードとなっていて、多くの子どもたちが自分の食べたいものを食べたいように作り、それをみんなでおすそ分けして食べる、ということが多かった。
- ・食事の時は自然と談話室付近に子どもたちが集まって、知らない子ども同士が関わる時間となっている。
- ・中学生の参加が増え、身体を動かす遊びをする子どもも増えて、室内では少し手狭な時もあったが、近隣への配慮から夜間に戸外で大声で思い切り遊ぶこともできず、廊下や遊戯室を使つての発散遊びが多かった。
- ・そんな中、2名の中学生が秋のプレステ子どもまつりに出店し、手作り品を販売したりお好み焼きを作って売ったりして、より多くの人と交流する機会を得た。
- ・また一定数、勉強がしたいと自習する子どももいて、2階の1室は自習室にすることも多かった。大学生がスタッフとして参加しているため、子どもたちは勉強を教えてもらったり話を聞いてもらったり、一緒にゲームをしたりと、関わりを楽しみにしていた。

〈まとめ〉

昨年度課題だった来場者数の少なさが解消され、安定的に夕暮れカフェを利用する子どもが増えてきた。活動内容も多様化し、様々な楽しい活動をしようとする子どもがいる一方で、スタッフとの個別の関わりを求めたり、はけ口として発散するような行動の子どももあり、思春期らしい混沌が見られる。スタッフは、個別のニーズに添えるよう注意深く見守りながら、楽しい活動ができるよう、様々な備品を用意したり、活動の場をうまく分けたりして工夫した。

③ 土日カフェ

- ・プレイステーションの利用者懇談会で、軽食のようなものがあると助かる、という声が上がっていたため、カフェメニューの中におかずパンのようなものを入れるなど工夫した。また、アレルギー対策としてたまごの入っていないお菓子なども時々提供して、いろいろなニーズに答えるようにした。保護者達からはとても好評で、プレイステーションの滞在時間が伸びたと思われる。
- ・家族連れが増え、父親の来場が当たり前の姿になった。カフェを楽しみにやってくる人も多い。
- ・後半開催時間を縮小したことで利用者数が減少した。その分、3月からは天気の良い時は開催場所を室内から戸外に移し、デッキ周辺でお茶やケーキを提供する形に変えたところ好評で、多くの利用があった。また、戸外で販売することで乳幼児親子の様子も分かり、必要なフォローもできたことで、保護者たちのくつろぎにつながったように思われる。

- ・土日カフェでも子どもの仕事体験を導入し、高学年だけの限定ではあるが、接客や販売、洗い物などに精を出して働いていた。

〈 3年間の活動を終えて 〉

1、3年間の利用者の変化

- ・駄菓子屋、夕暮れカフェは利用者数が増えてきた。土日カフェは開催時間の縮小により利用者が減ったが、いままであまり足を運ぶことのなかった父親、祖父母を含めた家族連れなどがたくさん利用するようになり、異年齢の交流がたくさん見られるようになった。また地域の高齢者も、土日カフェの音楽イベントなどを通じて興味を持つ人も出てきて、地域に開かれた遊び場へと一歩前進した。
- ・また、子どもたちも、必ずしも外遊びが好きではない子でも、駄菓子屋を目当てに遊びに来て、そこから冒険遊び場での遊びに興味をもったりするなど、子どもたちにとっても視野を広げる役目を果たしたと言える。
- ・反対に、プレイステーションを居場所とする孤立しがちな子どもたちにとっては、夕暮れカフェでスタッフとの親密な関わりができることでさらなる安心の居場所となったと思われる。そして最初は駄菓子屋などの活動を横目で見ていた子たちも次第に興味を持ち、自分なりに駄菓子屋を居場所としていき、「少し働いてみようかな」と店員になる子どもも出てきた。身近に駄菓子屋があるからこそその変化が見られた。
- ・また、仕事体験を通じて子どもたちは自分から積極的に動く楽しさを知り、また頼りにされることで自信をつけていったのではないかと思われる。出張販売で大人から「ありがとう」を言われたり、店長から「助かった」と言われたりする経験は貴重な機会だと思う。このお店は自分たちが頑張らないと、という気概をもつ子どもたちも多くいて、子どもたちは十分遊び場を背負っていると思われた。一般的に大人主導の遊び場が多い中で、冒険遊び場の中に子どもが働く場所を作った意義は大きいと思われる。

このように、仕事体験・居場所づくり事業によって、子どもたちは自分たちの意見がお店の運営に生かされたり、頼りにされたりする経験を経て、自信をつけていったと思われる。そして保護者や赤ちゃんも含めて異年齢、多様な人とのかかわりが生まれる活動だったと言える。

他方、プレイステーションは孤立しがちな子どもたちの居場所という側面があり、必ずしも多くの関わりを求めている子どもたちについては、夕暮れカフェがその機能を果たし、スタッフとの個別的な関わりの中から、少しずつ人への信頼を取り戻したり、またつらい気持ちを吐き出したりしながら、安心の居場所として機能していた。

2、居場所づくりに必要だった工夫

プレイステーションは、本事業を始めたことで、これまで以上に利用者層の多様化、年齢幅の増加、ニーズの多様化が進んだ。特に夕暮れカフェの活動を通じて中学生・高校生が利用者として登場したことで、プレイステーション全体に大きな影響を及ぼした。

普通は、乳幼児を持つ保護者たちが、小学生や、ましてや思春期の子どもたちと関わりをもつことはほ

とんどないし、むしろ関わりを避けて過ごしていると思われる。ところがプレイステーションではそういった年代の違う人たちが、本事業を通じて隣合ったり、時には同じ場面を共に過ごすことも出てきて、初めの頃は保護者が怖がったりする場面も多かった。スタッフは異世代交流の難しさや、多様な人が共に過ごす難しさを実感することになった。

そこでいくつかの工夫を行った。

一つは、子どもたち、とくに嵐の思春期真っ只中の中・高校生の気持ちをプレイリーダーが汲み取り、それを他の子どもたちや乳幼児の保護者達に丁寧に伝え続けたこと。

気持ちを言語化することが難しく、行動が先立つ子どももいて、子どもの気持ちを代弁するプレイリーダーの仕事は重要になる。何度も大人たちに説明するうちに、理解してくれる人も出て、若者と交流する場面も生まれた。

二つ目は、ゾーニング。

活動場所をうまく分けられるよう、遊具の場所や動線を工夫して、乳幼児には危険が及ばないよう、また高学年以上の子は自分たちだけの空間が過ごせるよう、プレイリーダーが遊具の場所や動線、空間を工夫した。これによって思わぬけがをすることは避けられ、お互いがそれぞれの遊びを満喫できたと言える。

3、様々な仕組みの連携体制で居場所を運営する

一方、多様な利用者が共存する為には、プレイリーダーの努力と工夫だけでは難しいと感じることも多かった。夕暮れカフェを利用する子どもたちの抱えている背景があまりにも厳しく、遊び場という一つの施設だけで何とかなるものでもなく、ただただ怒りの矛先として、あるいははけ口として、そばにいない状況が続き、施設を預かる団体としても常に判断を試されるような日々であった。スタッフの心と体にもかなりの厳しい状態が続いたことは否めない。

そのような状況の中でも他機関と連絡を取り合い、何とかならないか話し合いを続けたことは良かったことの一つで、解決に至らずとも連携で支え合う体制ができ、孤立することは避けられた。

今後も様々な孤立する子どもたちの利用が予測されるが、遊び場だけでなく様々な公的な仕組みや施設などが上手に彼らと関わりを持ってもらい、一緒に寄り添ってもらえればと考えている。

4、いろいろな人がその場にいることの大切さ

孤立を深めた子どもたちがやってくる中で、さまざまな他機関と情報共有はできても、遊び場の中での根本的な「困った状態」を変えることは難しかったが、一番救いになったことは、利用者やボランティア、地域の方の中から「いろんな子もいるよね」「根はいい子だと思うよ」などと声をかけてくれる人がいたことだった。社会的な孤立を「本人責任」として当然のように冷ややかに見る人が多い中で、遊び場で隣り合った人の中から、理解しようとする人がいたことは、スタッフにとって大きな励みになった。

多様な人、多世代が利用する居場所の運営は難しいことも多いが、逆に多様な人がいるからこそ、その個性や人と違う光るものを認め合い、一緒にやっという暖かい雰囲気も生まれるのだということを実感した。居場所づくりは色々な人が集まって企画し、運営していくことが大切だと改めて思った。

3年間の利用者数の変化

